

市民意識調査の調査結果

1) アンケート調査の概要

①調査の目的

大網白里市の環境の現状について、市民ならびに子ども達はどのように評価しているか、また、第1次環境基本計画策定時からどのように意識が変わっているかなどを把握し、その結果を環境基本計画の策定に反映させるために、市民ならびに子ども（小学生・中学生）を対象にアンケート調査を実施した。

②調査対象

調査対象は以下に示すとおり、「市民」、「市内の子ども（小学校5年生・中学校2年生）」との2分類で、2種類の調査票を用いて実施した。

市民：市内在住の20歳以上の方から無作為に抽出した 1,500名

子ども：市内の小学校5年生ならびに中学校2年生 749名

③調査方法

調査票の配布ならびに回収については、以下の方法で行った。

市民：郵送による配布、郵送（返信用封筒）による回収

子ども：学校（クラス担任）を通じての配布・回収

④調査実施期間

平成28年9月26日～10月14日までを調査実施期間とした。

⑤回収状況

回収率は、以下に示すとおり、市民アンケートが45.1%、子どもアンケートが100%となっている。

アンケート調査回収率

対象	配布数	回収数	回収率
市民	1,500	676	45.1%
子ども	749	749	100%

⑥結果の表記における注意事項

アンケート結果について、小数点第1位や第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

2) 市民アンケート調査結果

属性情報

回答者の属性情報は以下のとおり。

属性項目		件数	構成比 (%)
年代	20歳代	66	9.8
	30歳代	101	14.9
	40歳代	94	13.9
	50歳代	122	18.0
	60歳代	152	22.5
	70歳代以上	138	20.4
	無回答	3	0.4
	合計	676	100.0

属性項目		件数	構成比 (%)
居住形態	戸建(持家)	618	91.4
	戸建(借家)	13	1.9
	集合住宅(持家)	13	1.9
	集合住宅(借家)	22	3.3
	社宅・寮	0	0.0
	その他	5	0.7
	無回答	5	0.7
	合計	676	100.0

属性項目		件数	構成比 (%)
性別	男性	254	37.6
	女性	368	54.4
	無回答	54	8.0
	合計	676	100.0

属性項目		件数	構成比 (%)
在住年数	5年未満	30	4.4
	5年以上～10年未満	70	10.4
	10年以上～20年未満	160	23.7
	20年以上	411	60.8
	無回答	5	0.7
	合計	676	100.0

属性項目		件数	構成比 (%)
職業	会社員	166	24.6
	自営業(商工・サービス業)	33	4.9
	自営業(農林水産業)	17	2.5
	公務員	37	5.5
	主婦	154	22.8
	アルバイト・パート	89	13.2
	学生	17	2.5
	無職	139	20.6
	その他	17	2.5
	無回答	7	1.0
	合計	676	100.0

属性項目		件数	構成比 (%)
居住地区	瑞穂地区	94	13.9
	山辺・大和地区	92	13.6
	大網地区	235	34.8
	増穂地区	123	18.2
	福岡・白里地区	114	16.9
	無回答	18	2.7
	合計	676	100.0

属性項目		件数	構成比 (%)
世帯構成	1人	43	6.4
	2人	206	30.5
	3～4人	309	45.7
	5人以上	104	15.4
	無回答	14	2.1
	合計	676	100.0

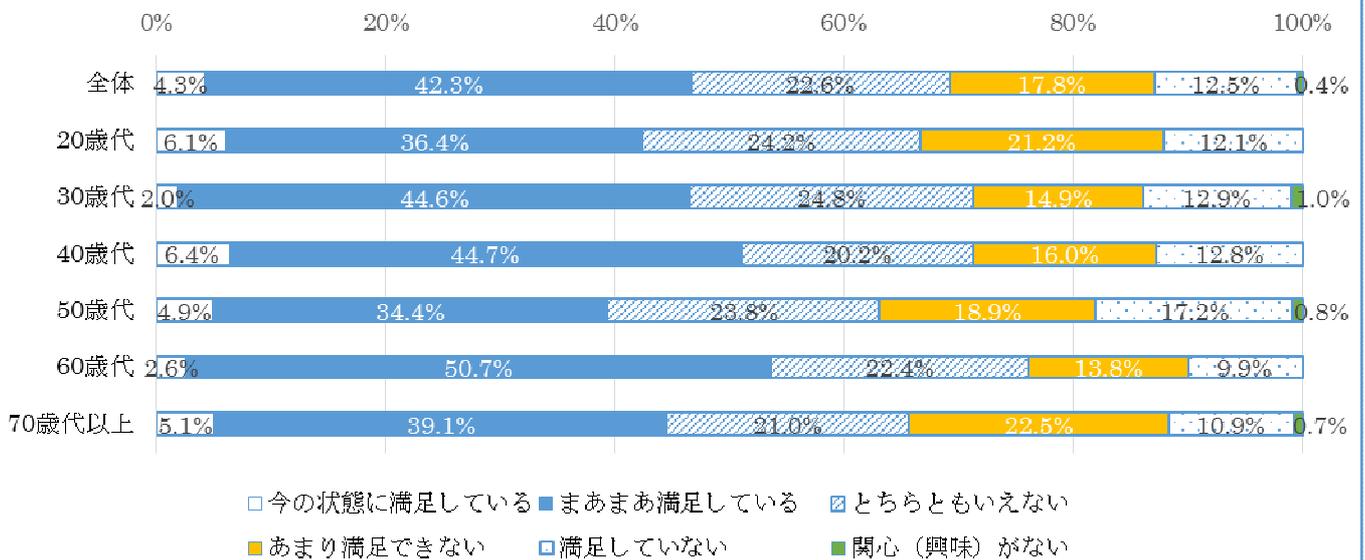
属性項目		件数	構成比 (%)
移動手段	徒歩	56	8.3
	自転車	52	7.7
	バイク	9	1.3
	自動車	508	75.1
	バス	12	1.8
	鉄道	28	4.1
	その他	4	0.6
	無回答	7	1.0
	合計	676	100.0

問1. 現在の大網白里市の環境の快適さ全般について、どの様に思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 今の状態に満足している。
2. まあまあ満足している。
3. どちらともいえない。
4. あまり満足できない。
5. 満足していない。
6. 関心（興味）がない。

環境の快適さ全般について「まあまあ満足している」とする割合が最も多く 42.3%であったが、「どちらともいえない」(22.6%)、「あまり満足できない」(17.8%) も多く、今後、市民の満足度が高まる取り組みが必要と言える。

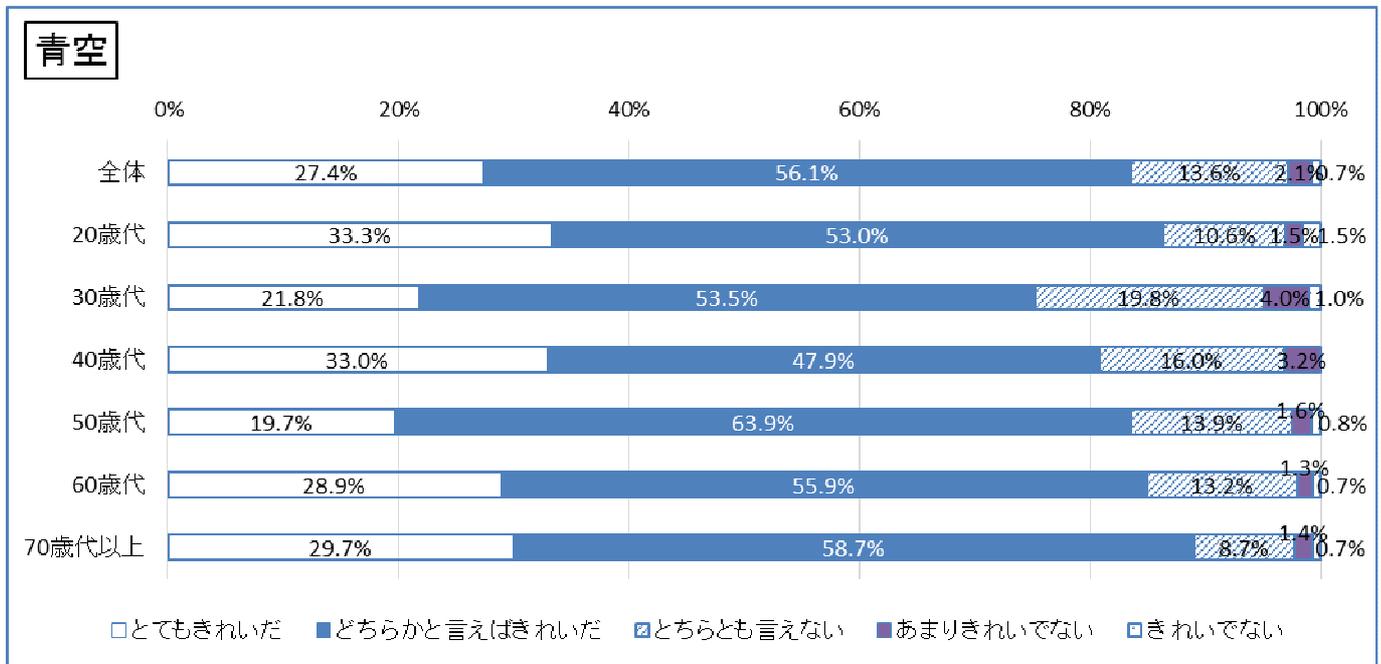
快適さ



問2. 大網白里市の“青空”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. とてもきれいだ。 2. どちらかと言えばきれいだ。 3. どちらとも言えない。
4. あまりきれいではない。 5. きれいではない。

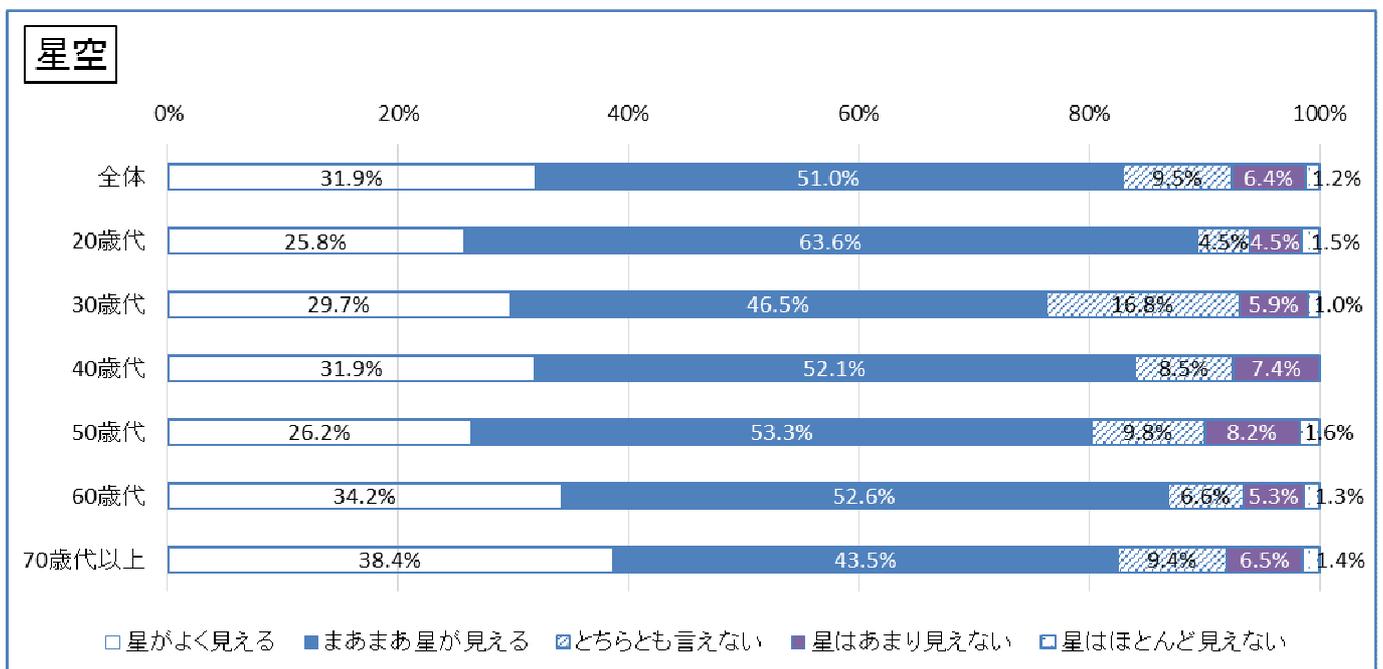
青空に対する評価は、「とてもきれいだ」(27.4%)と「どちらかと言えばそう思う」(56.1%)の肯定評価を合わせると83.5%ととても高くなっている。



問3. 大網白里市の“星空”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 星がよく見える。 2. まあまあ星が見える。 3. どちらとも言えない。
4. 星はあまり見えない。 5. 星はほとんど見えない。

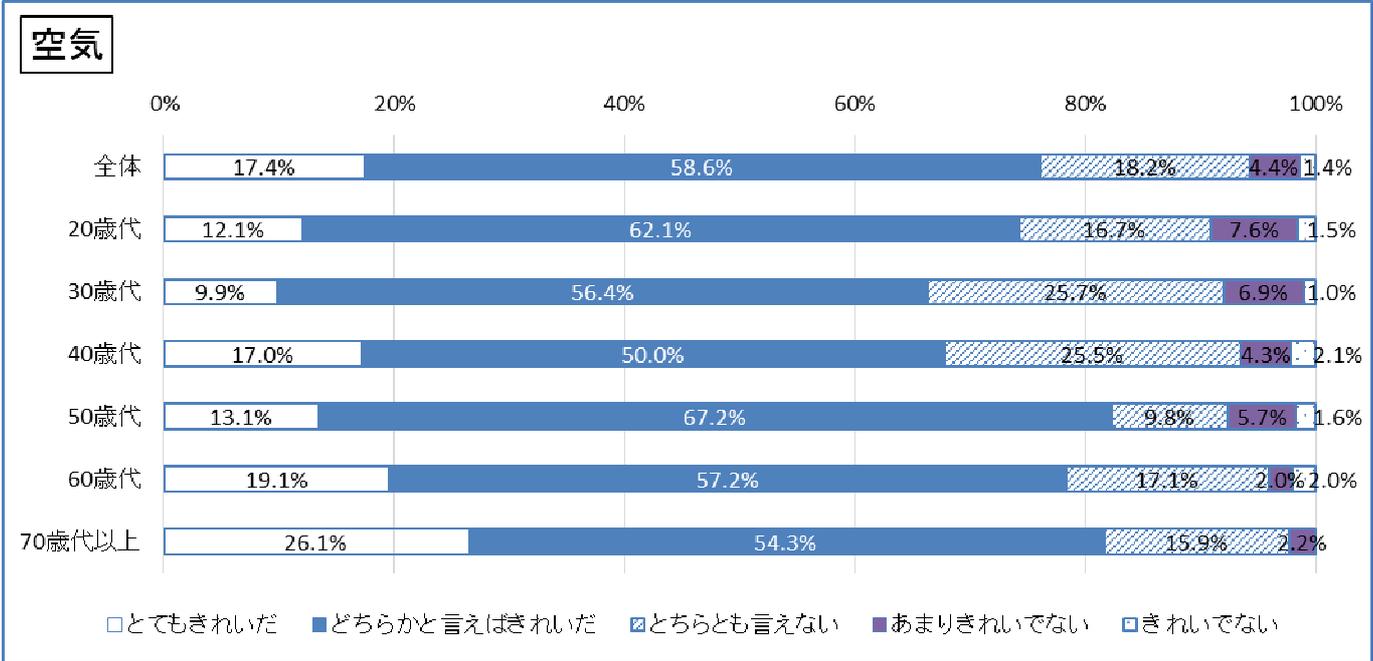
星空に対する評価は、青空と同様に高く、肯定評価は82.9%であった。



問4. 大網白里市の“**空気**”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. とてもきれいだ。 2. どちらかと言えばきれいだ。 3. どちらとも言えない。
 4. あまりきれいでない。 5. きれいでない。

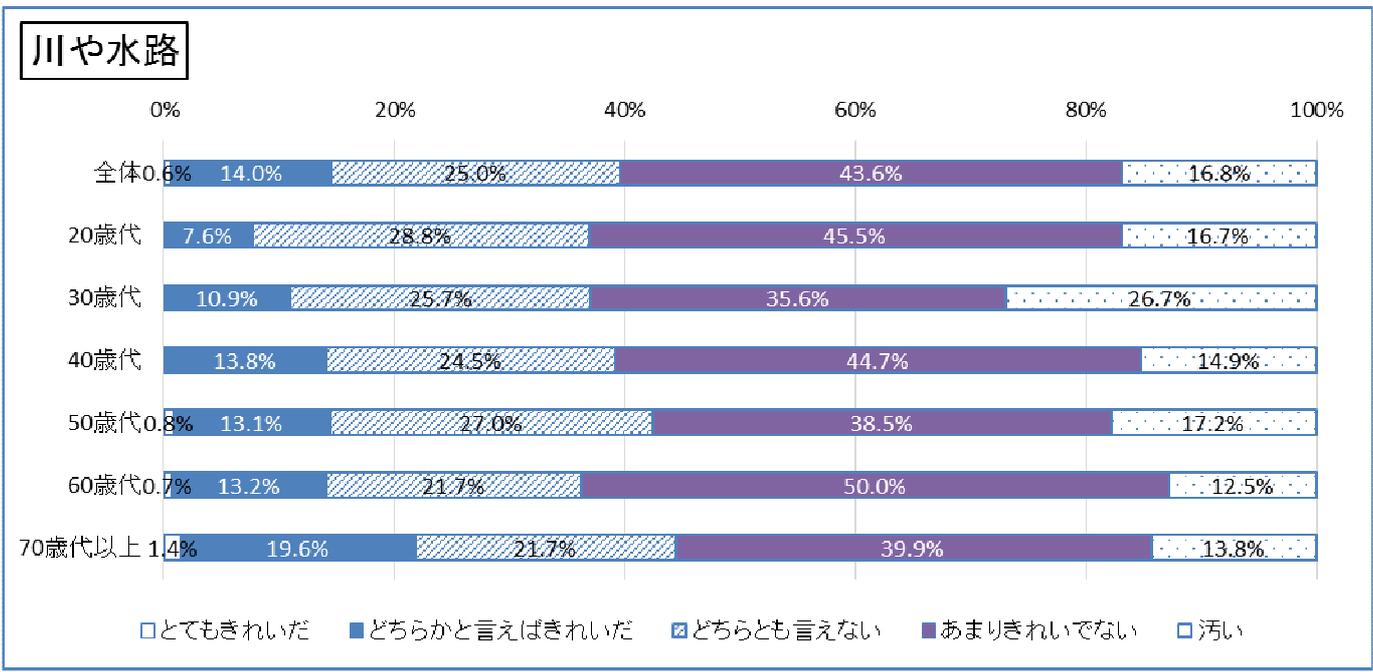
空気に対する評価は、青空や星空よりも低かった。



問5. 大網白里市の“**川や水路**”について、あなたはどのように思いますか。川や水路はたくさんありますが、あなたが市内で思いつく川や水路について、あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. とてもきれいだ。 2. どちらかと言えばきれいだ。 3. どちらとも言えない。
 4. あまりきれいでない。 5. 汚い。

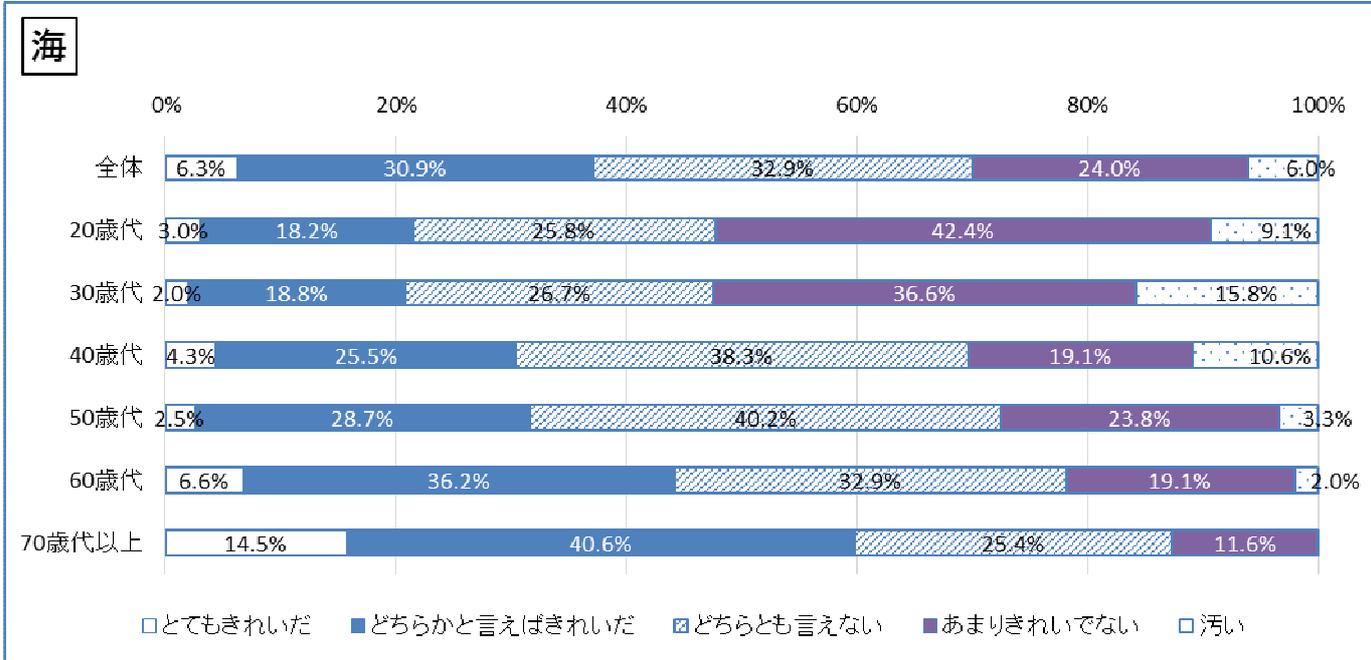
川や水路についての評価は、最も低く、肯定評価は全体の約 15%にとどまり、否定評価は 60.4%となっている。



問6. 大網白里市の“海”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

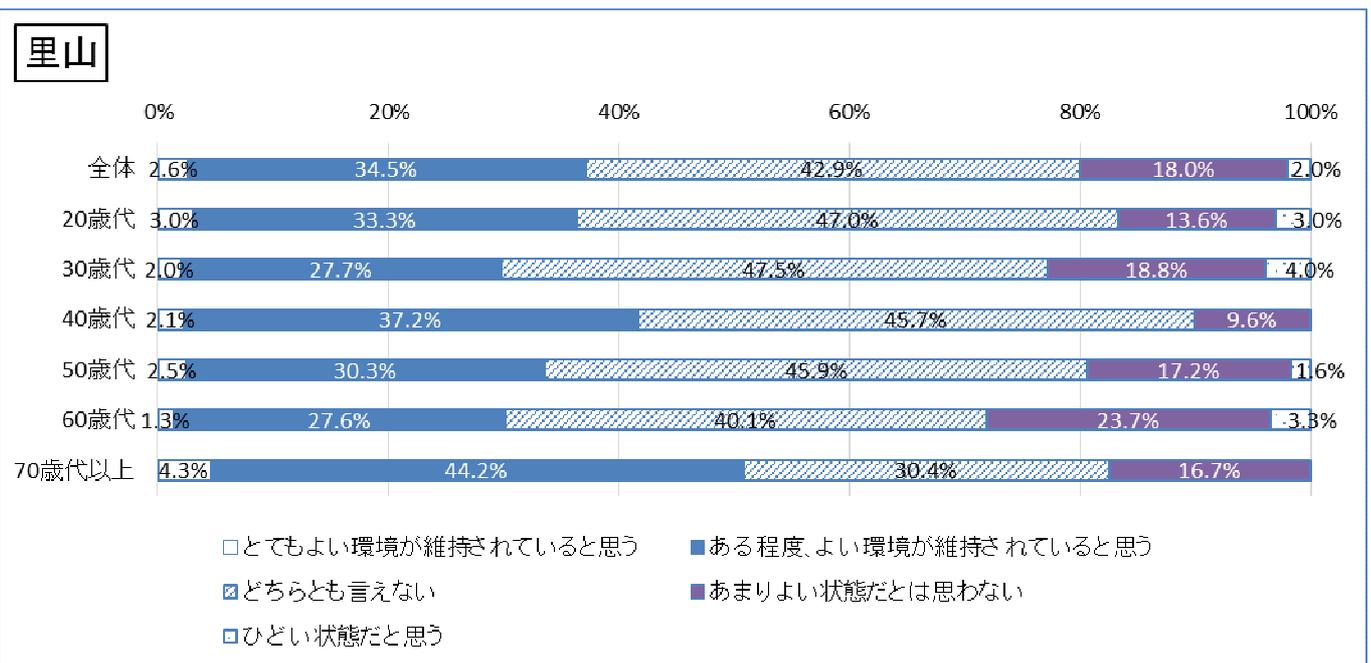
1. とてもきれいだ。 2. どちらかと言えばきれいだ。 3. どちらとも言えない。
4. あまりきれいでない。 5. 汚い。

海についての評価は、川・水路に次いで低く、否定評価が37.2%と低くなっている。



問7. 大網白里市の“里山”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

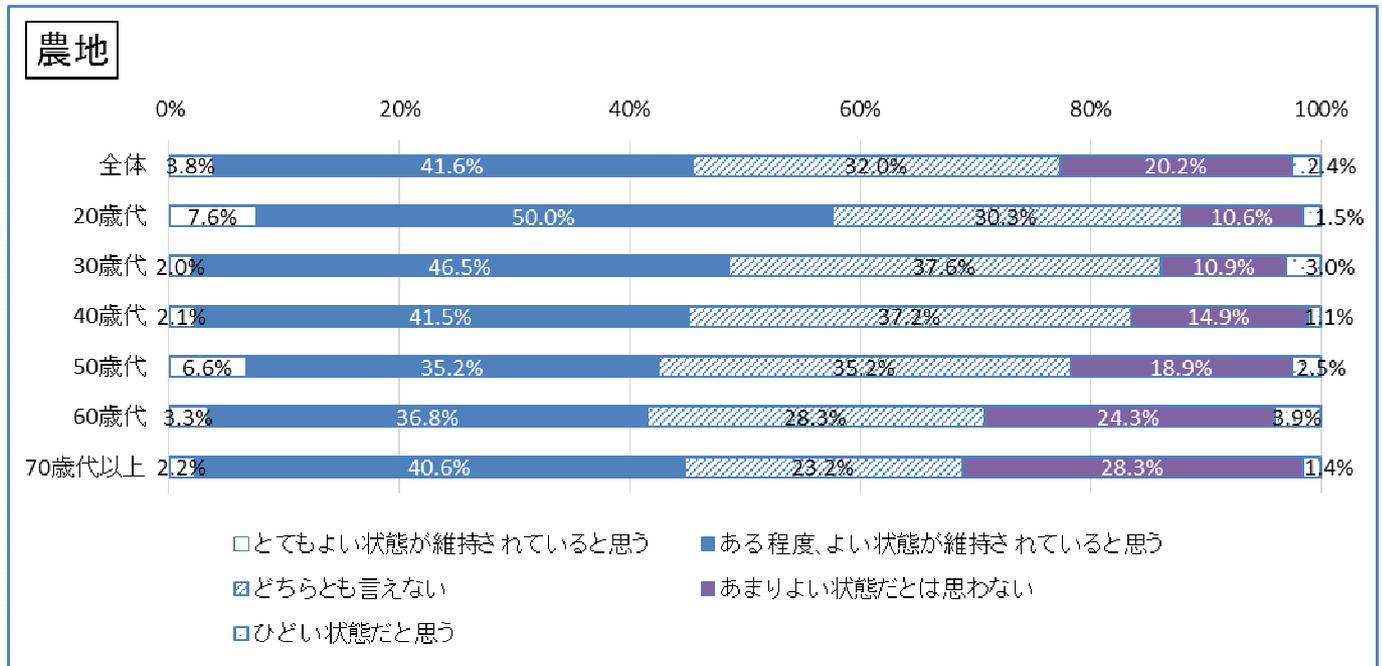
1. とてもよい環境が維持されていると思う。 2. ある程度、よい環境が維持されていると思う。
3. どちらとも言えない。 4. あまりよい環境だとは思わない。
5. ひどい環境だと思う。



問8. 大網白里市の“農地”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. とてもよい状態で維持されていると思う。 2. ある程度、よい状態が維持されていると思う。
 3. どちらとも言えない。 4. あまりよい状態だとは思わない。
 5. ひどい状態だと思う。

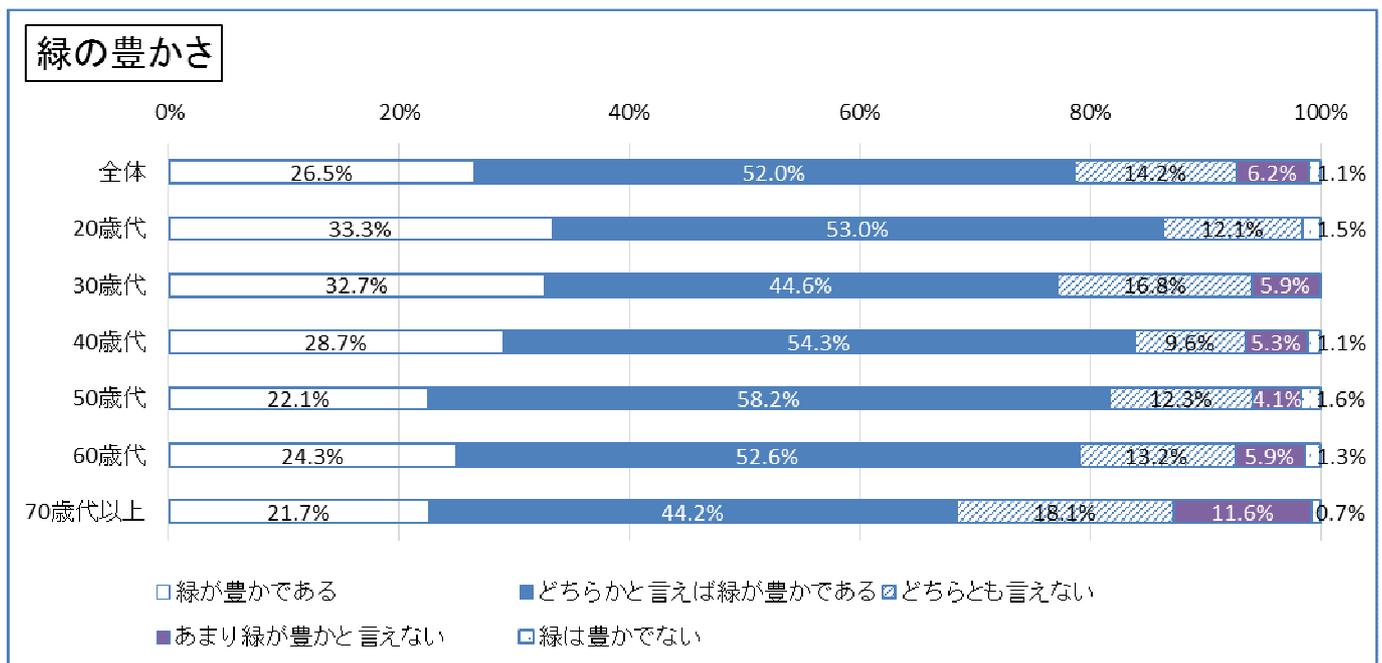
農地についての評価は、肯定評価が45.4%となっている。20歳代の肯定評価が最も高い。



問9. 大網白里市の“緑の豊かさ”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 緑が豊かである。 2. どちらかと言えば緑が豊かである。 3. どちらとも言えない。
 4. あまり緑が豊かとは言えない。 5. 緑は豊かでない。

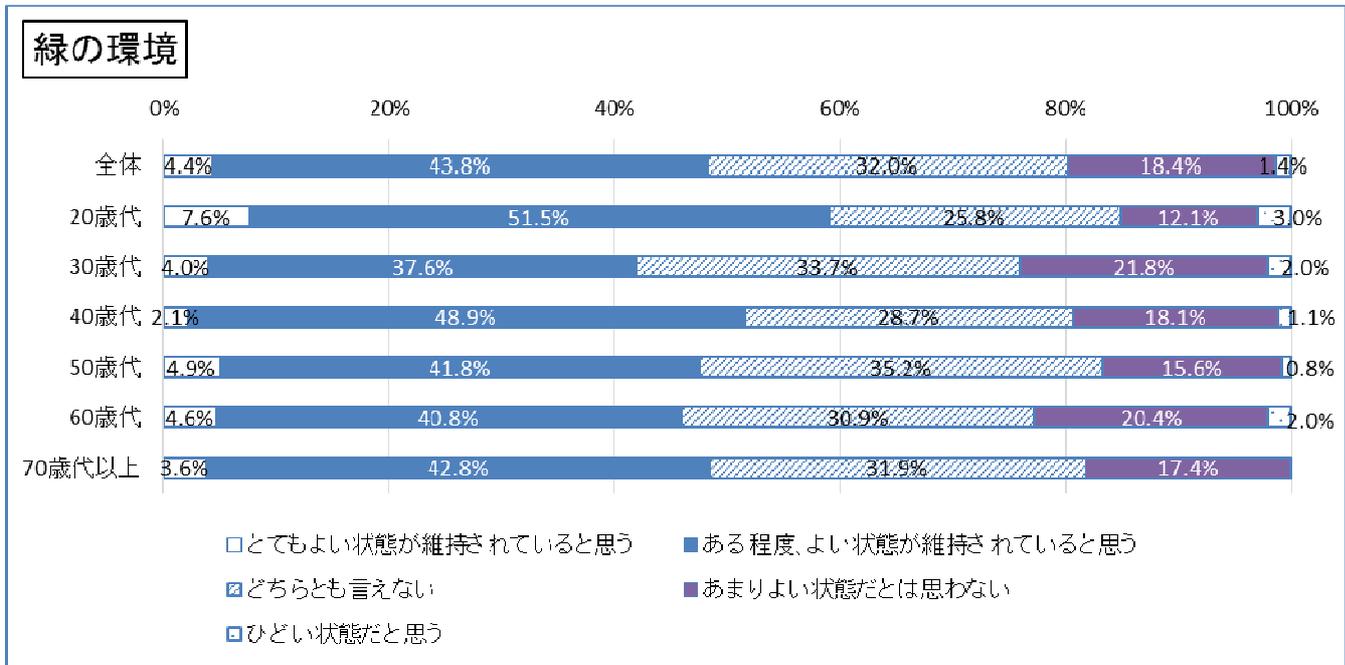
緑の豊かさについての評価は、肯定評価が78.5%と、星空、青空に次いで3番目に高くなっている。



問10. 大網白里市の“**緑の環境**”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. とてもよい状態で維持されていると思う。 2. ある程度、よい状態が維持されていると思う。
 3. どちらとも言えない。 4. あまりよい状態だとは思わない。
 5. ひどい状態だと思う。

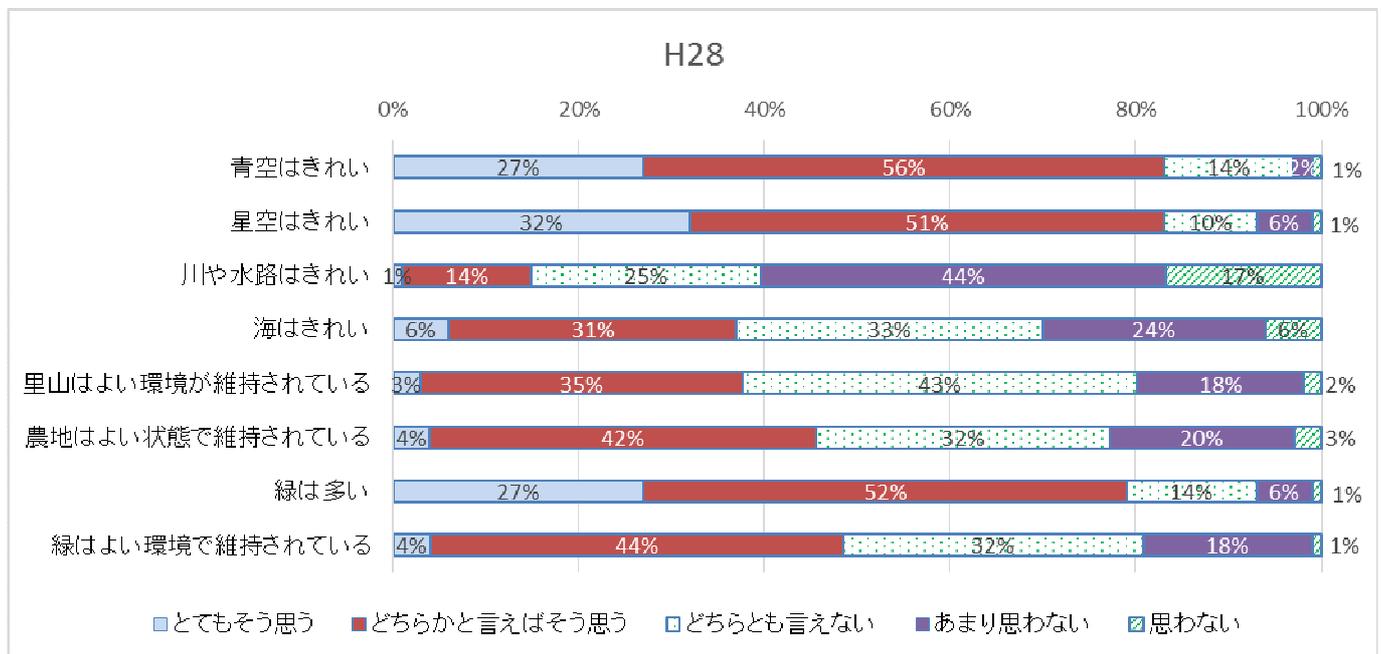
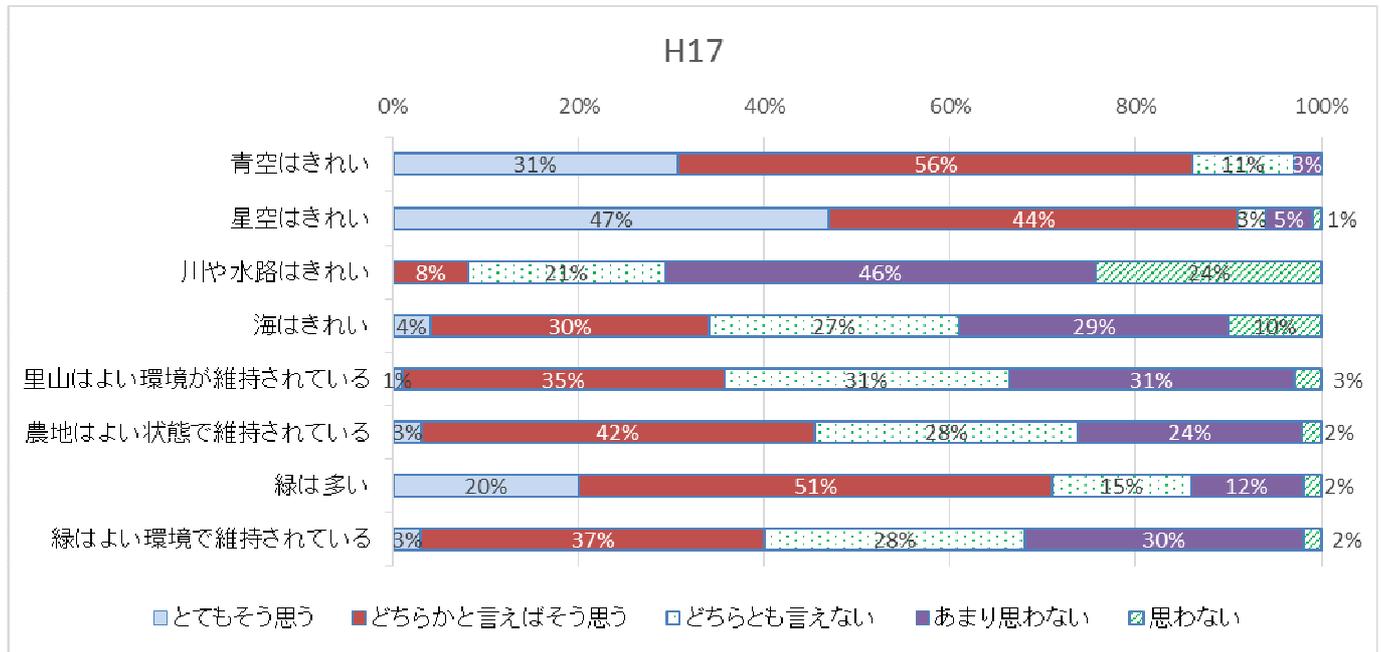
緑の環境についての肯定評価は、48.2%となっている。



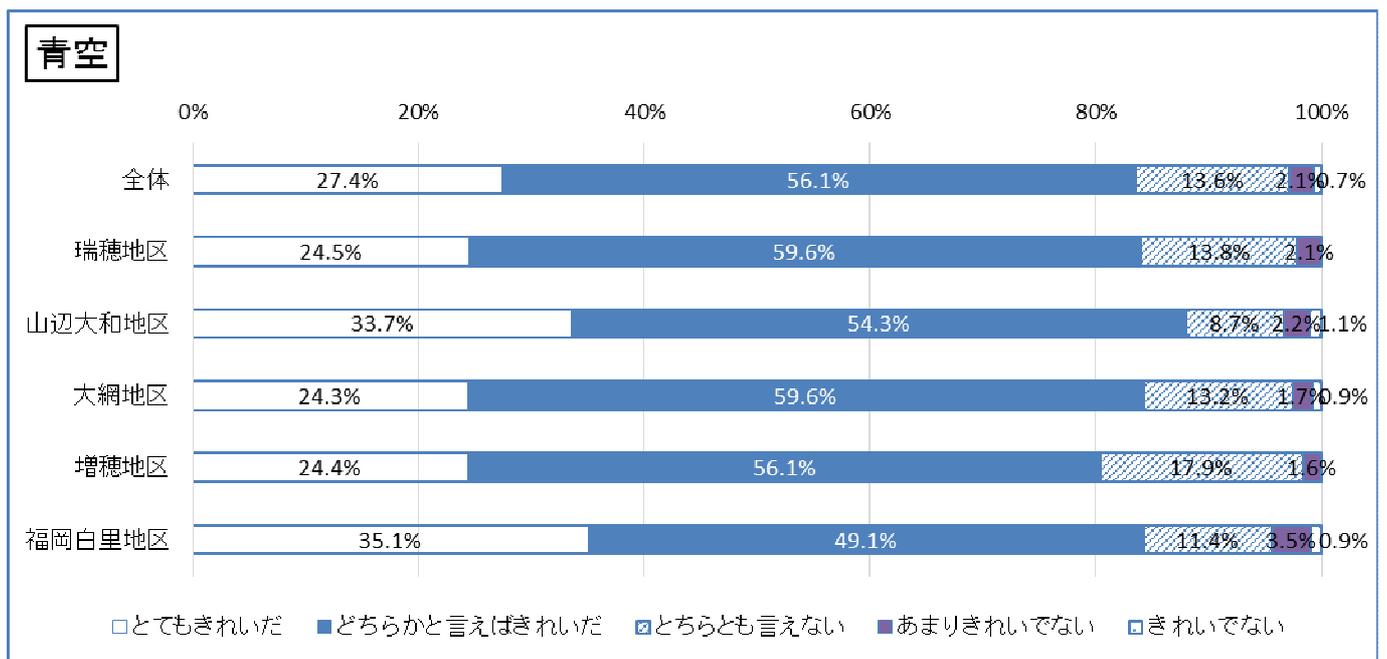
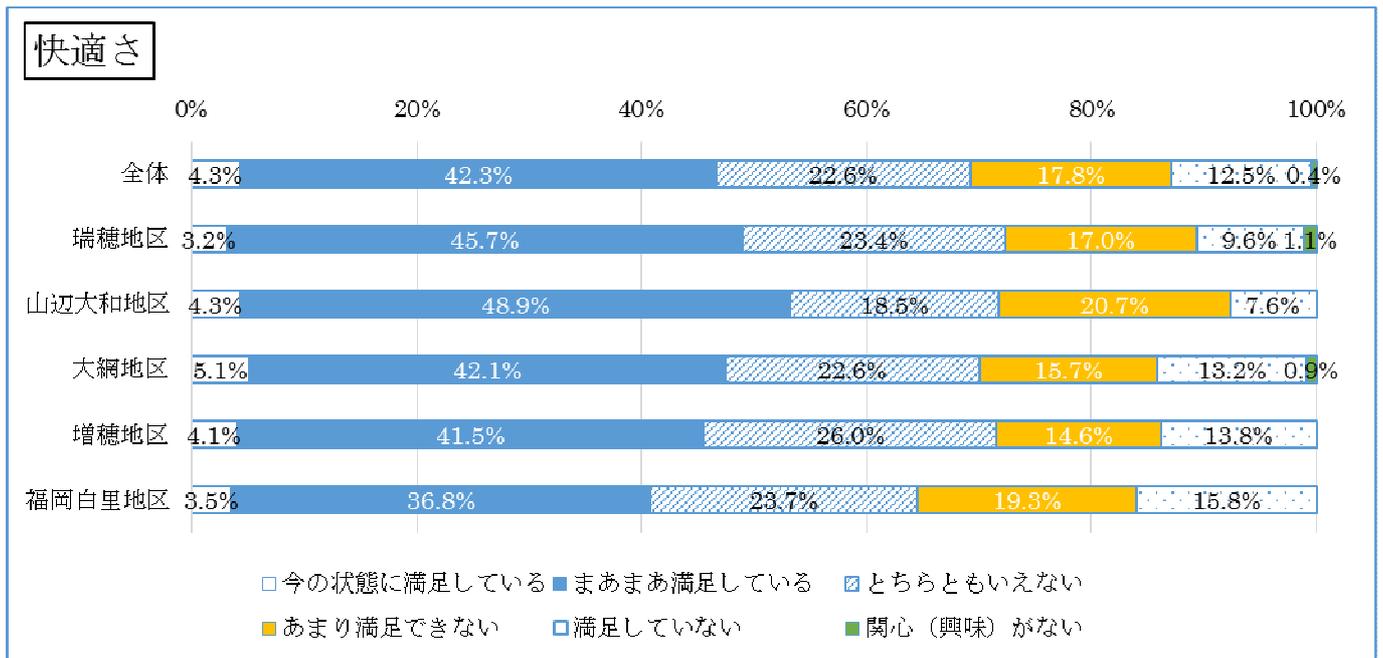
◇第1次環境基本計画の目標について

第1次環境基本計画での目標に関する事項についてH17とH28を比べてみると、次のような結果となった。

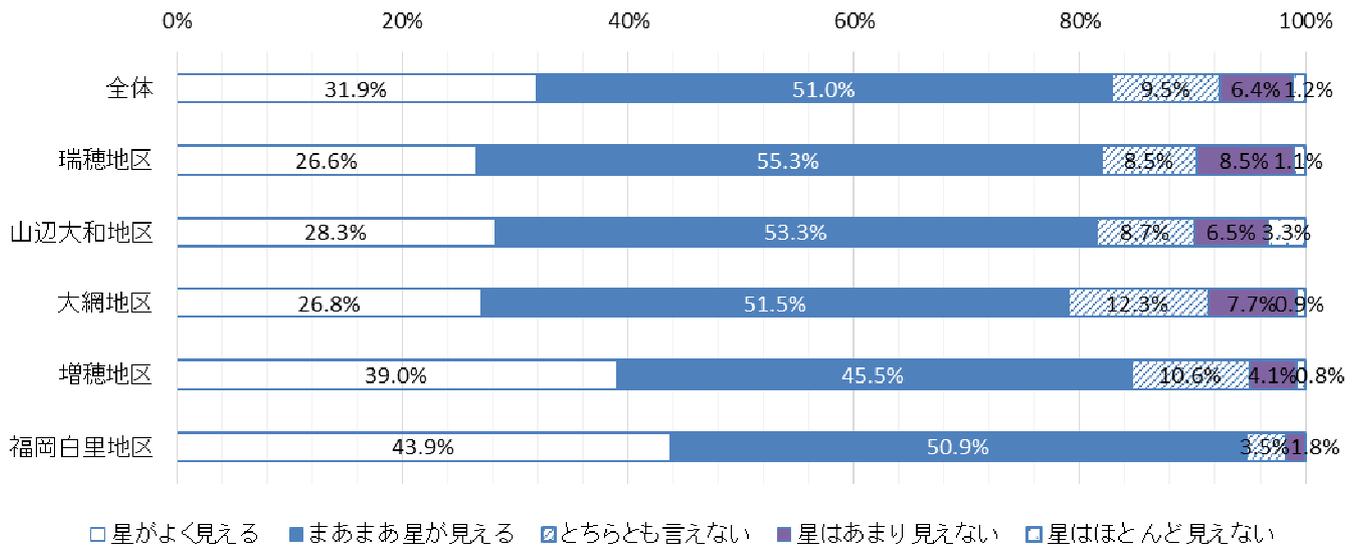
それぞれ項目についてみると、「星空」、「青空」、「緑の豊かさ」は同様に高くなっており、「川や水路」、「海」、「里山」は依然として低くなっている。



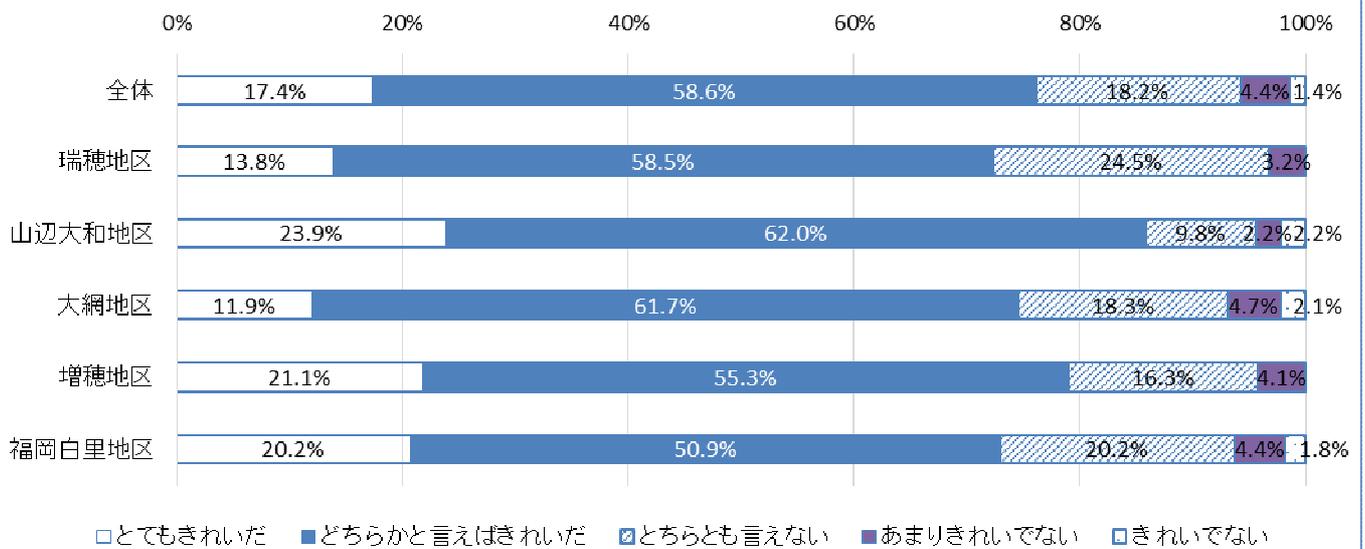
地区ごとの評価については次のとおり。



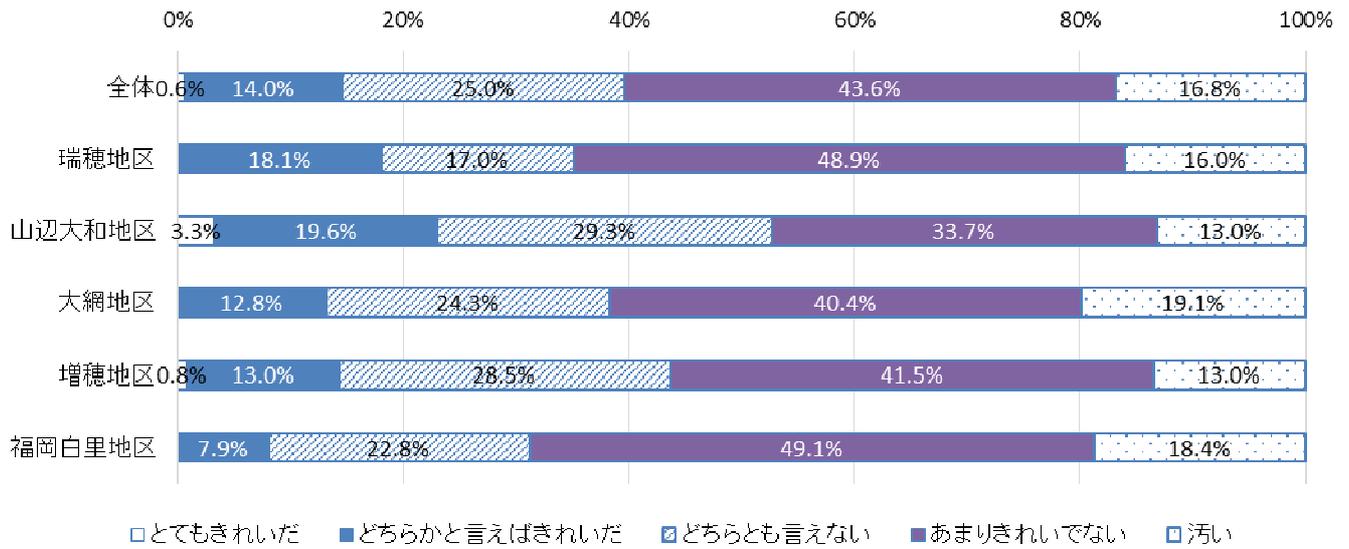
星空



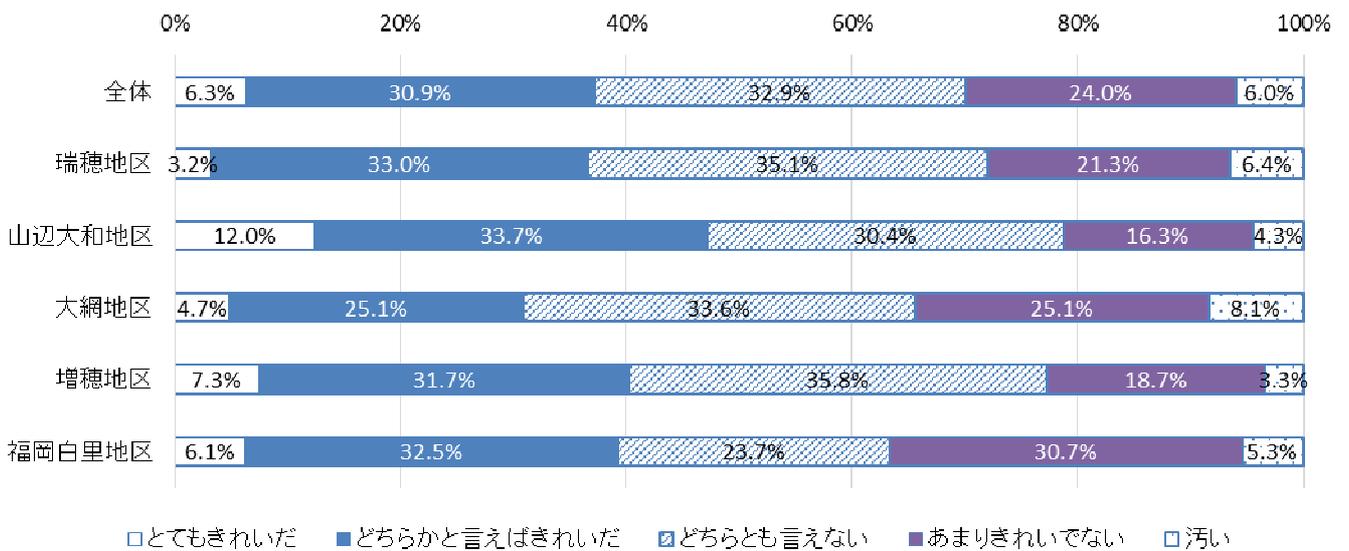
空気



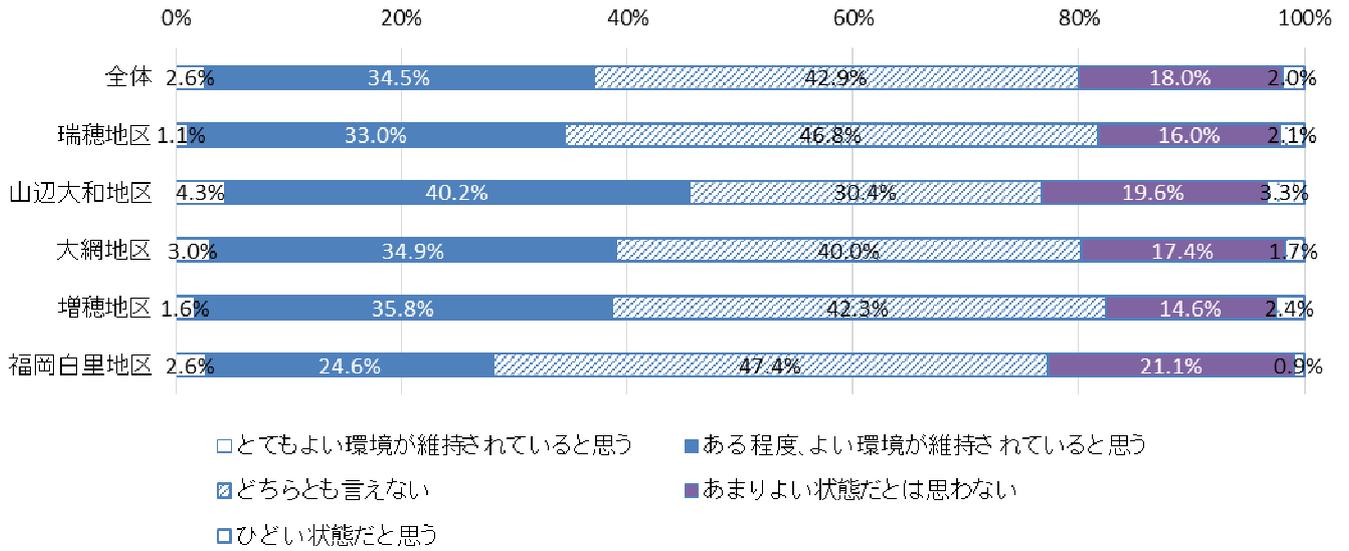
川や水路



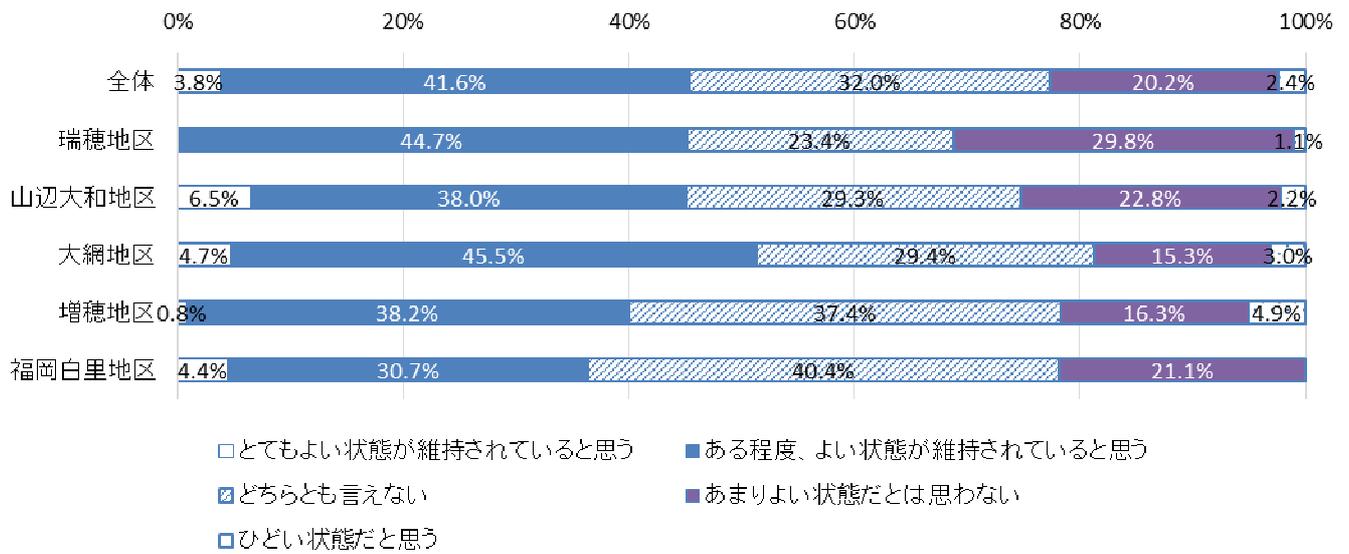
海



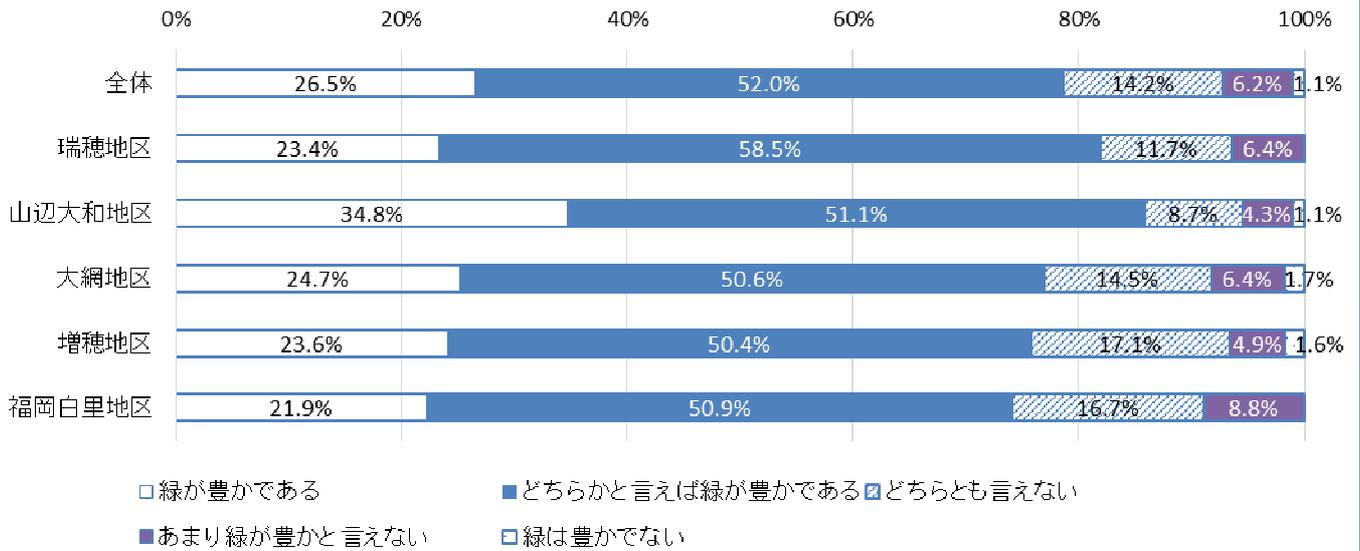
里山



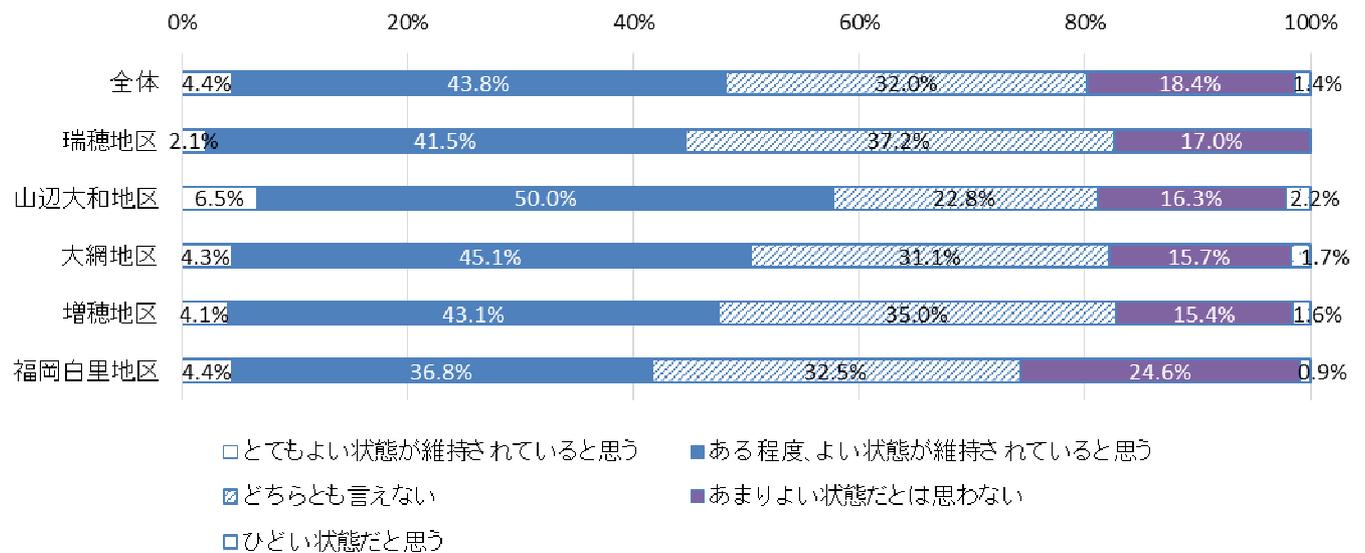
農地



緑の豊かさ



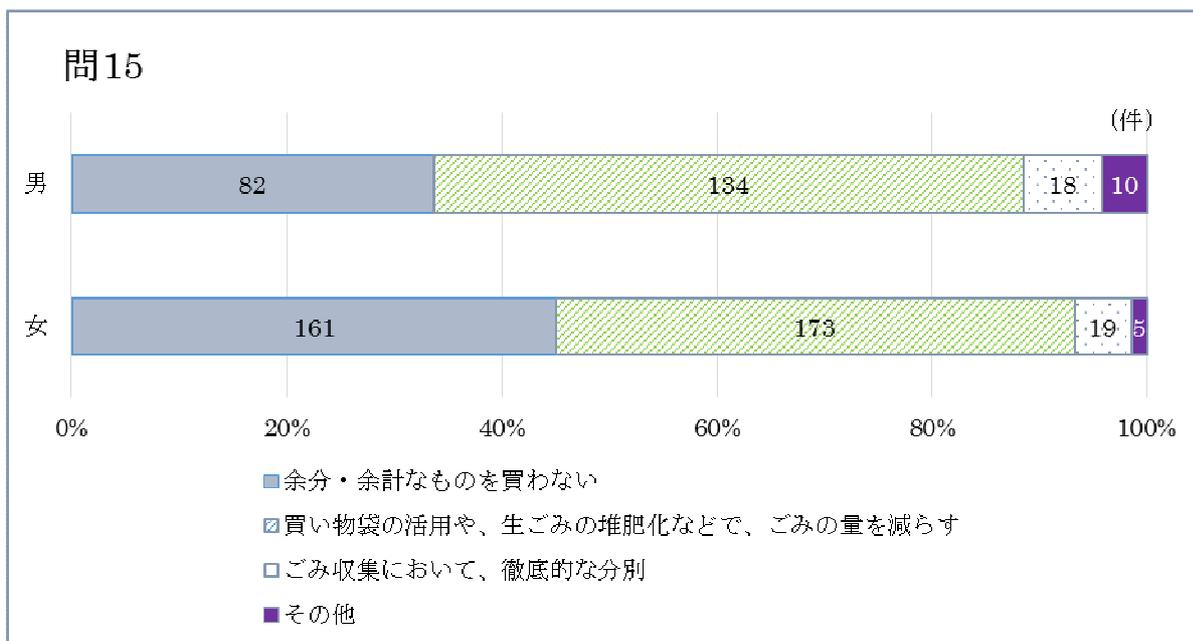
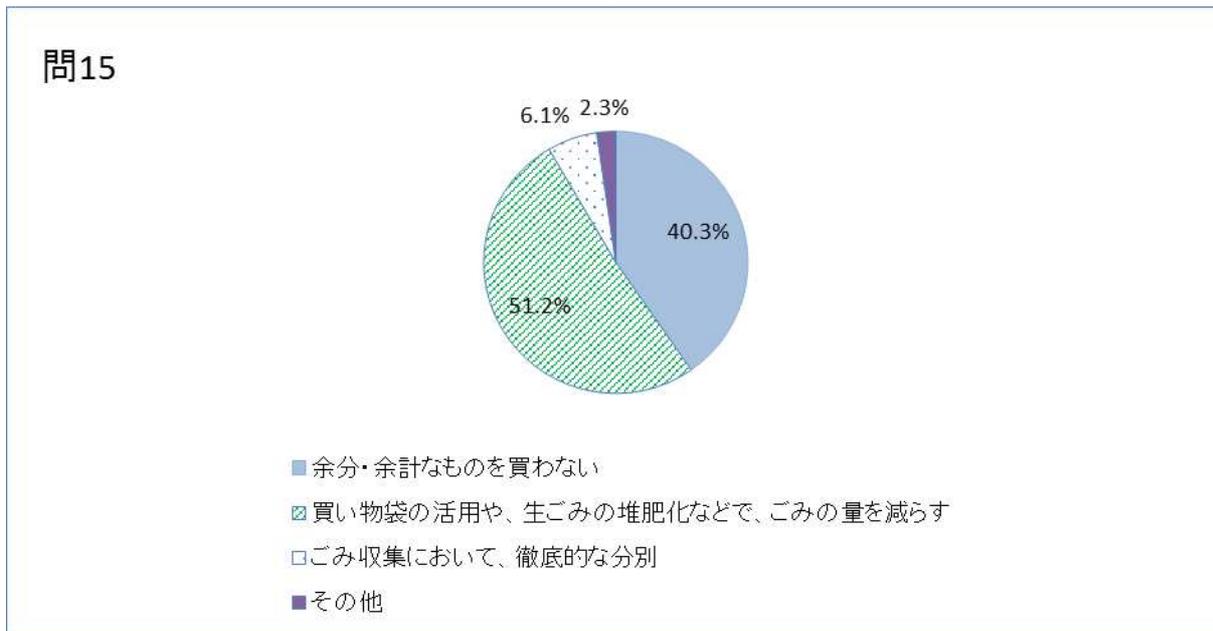
緑の環境



問15. “ごみの減量”について伺います。あなたは、どのようにしてごみの減量を進めるべきだと思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 余分・余計なものを買わない。
2. 買い物袋の活用や、生ごみの堆肥化など様々な工夫で、家庭から出るごみの量を減らす。
3. ごみ収集において、徹底的な分別を行う(たとえば10種類以上の分別をするなど)。
4. その他()

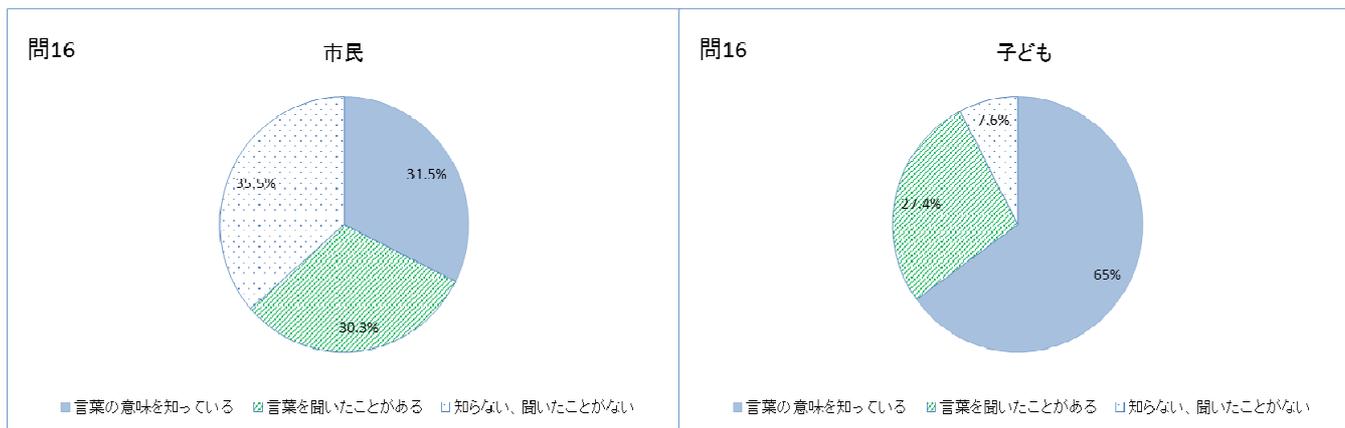
「ごみを減らす」では、ごみの減量について「買い物袋の活用や生ごみの堆肥化など様々な工夫で、家庭から出るごみの量を減らす」のがよいと回答が全体の約5割を占めた。



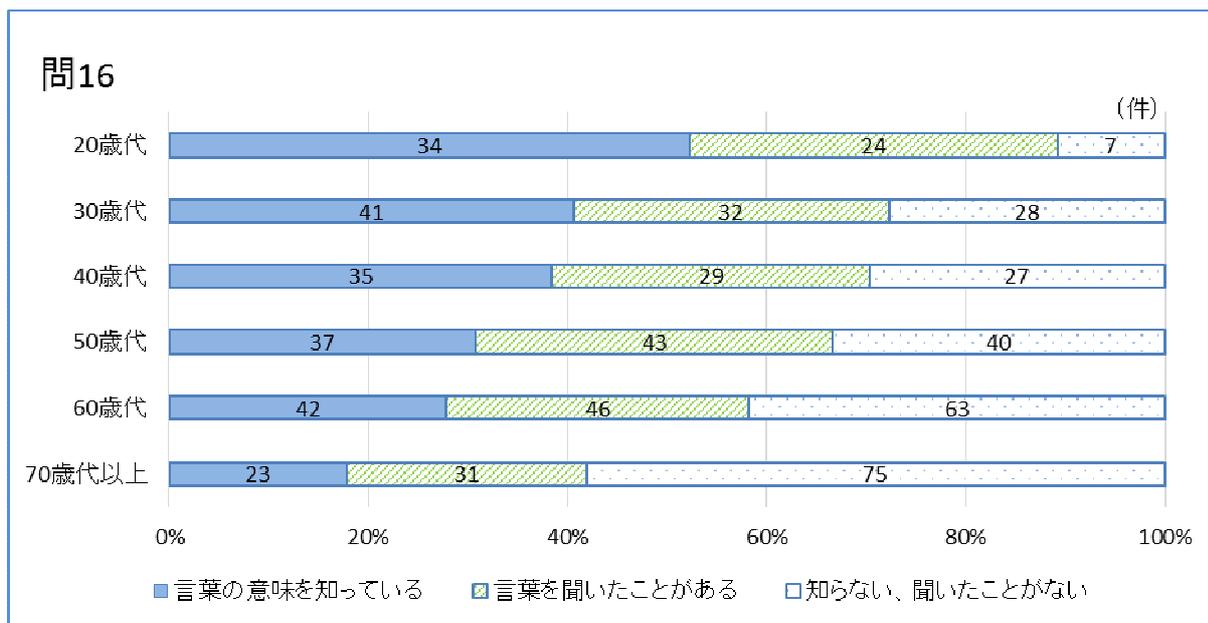
問16. 「3R (スリーアール)」という言葉についてお聞きします。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。 ※リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) の3つのR (アール) の総称。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 言葉の意味を知っている。 | 2. 言葉を聞いたことがある。 |
| 3. 知らない、聞いたことがない。 | |

3Rについては、「言葉の意味を知っている」と「言葉を聞いたことがある」で約6割となっており、子どもの「言葉の意味を知っている」と「言葉を聞いたことがある」が9割を超えているので大きな差がある。



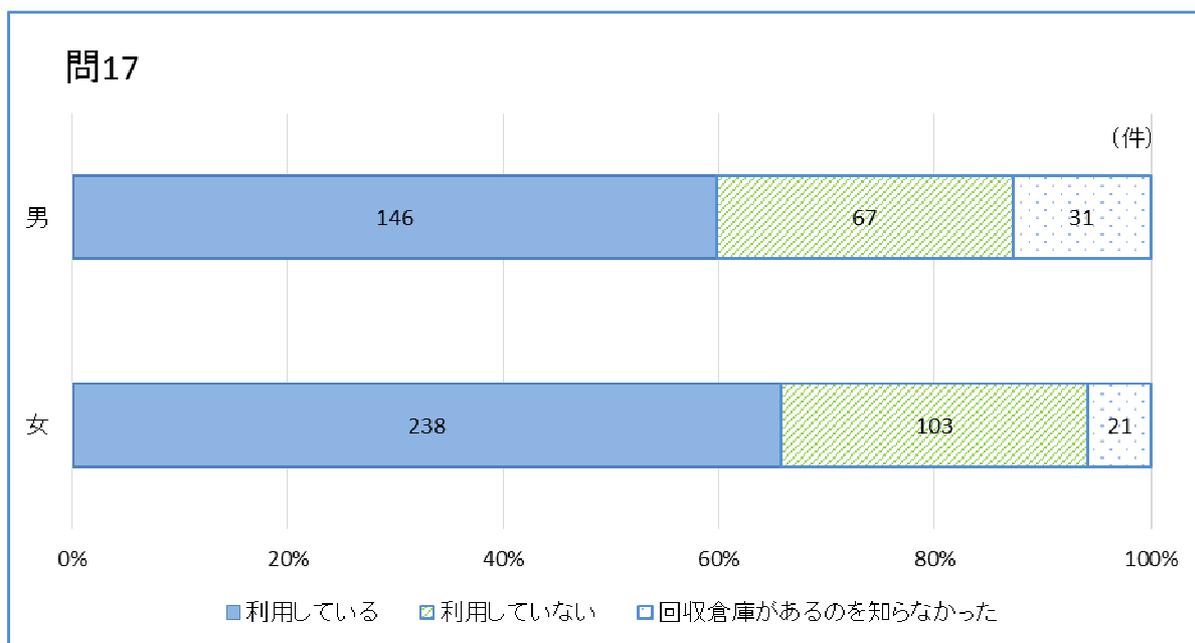
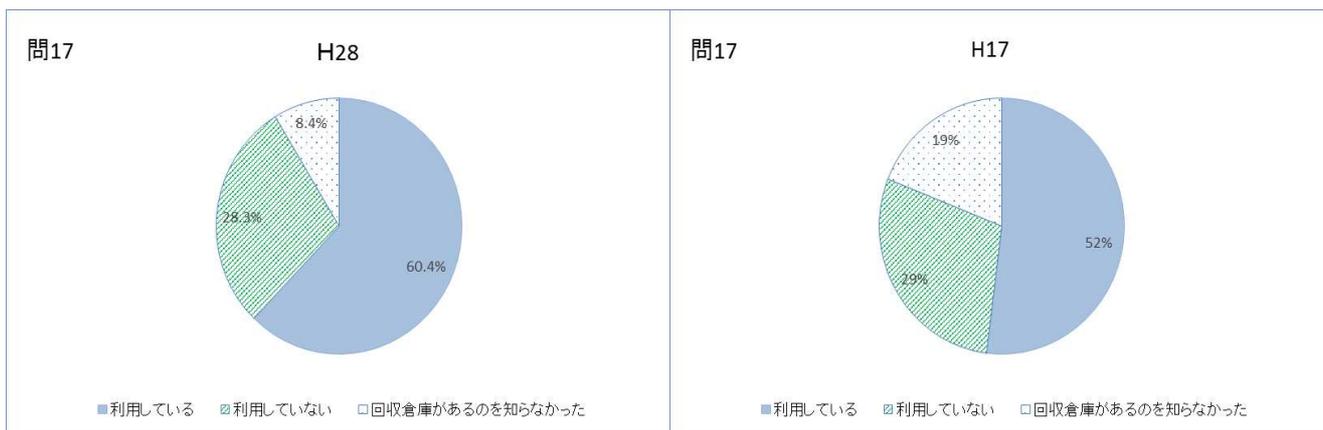
年齢層が若い程言葉の意味を知っている。



問17. 市内4箇所に設置してある「リサイクル回収倉庫」の利用状況についてお聞きします。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 利用している。 2. 利用していない。 3. 回収倉庫があるのを知らなかった。

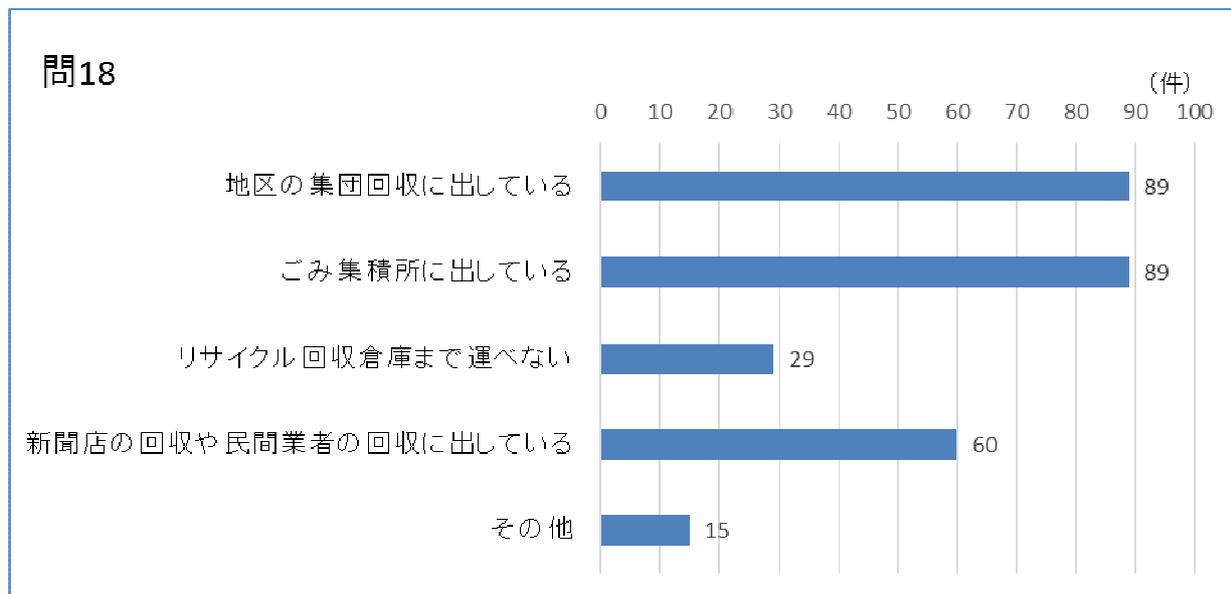
既に市内に設置されている「リサイクル回収倉庫」については、全体の60.4%が「利用している」と答えており、H17の「利用している」52%から高くなり、「知らなかった」はH17の19%から8.4%と低くなった。



問18. 問17で「2.利用していない」と答えた方にお伺いします。利用していない理由について、あてはまるものの番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 地区の集団回収に出している。 | 2. ごみ集積所に出している。 |
| 3. リサイクル回収倉庫まで運べない。 | 4. 新聞店の回収や民間業者の回収に出している。 |
| 5. その他（ | ） |

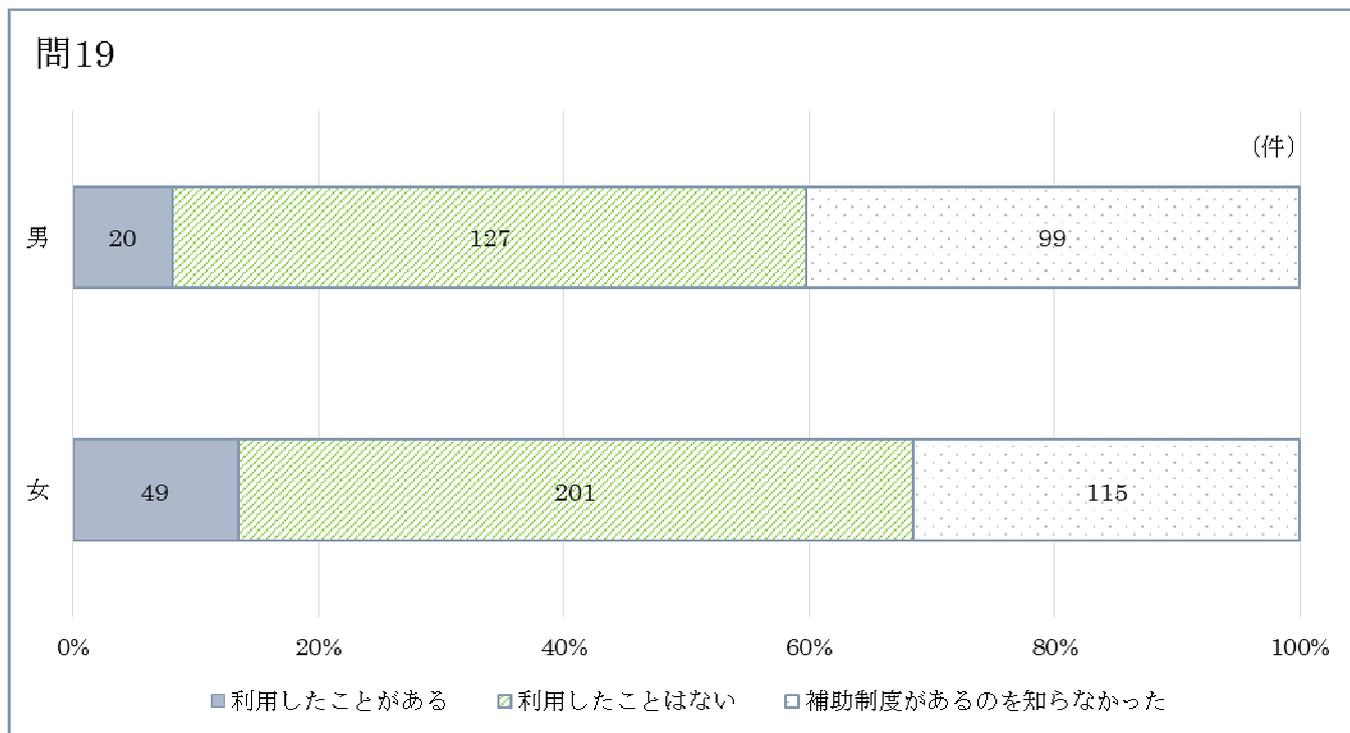
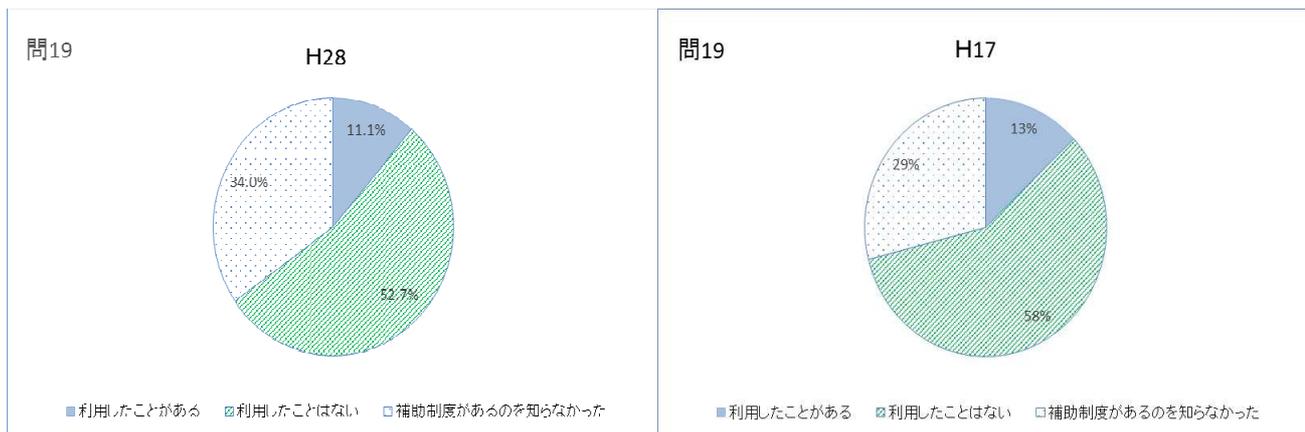
リサイクル回収倉庫を利用していない人に、利用しない理由を尋ねたところ、「地区の集団回収に出している」と「ごみ集積所に出している」が同数の89件で、ごみとして出している人がかなりいることがわかる。その他の回答では、「学校関係に出している」や「スーパーの回収BOXに出している」との回答が複数あった。



問19. 生ごみ堆肥化容器や処理機を購入した場合、市から補助金を交付する制度がありますが、この補助制度についてお聞きします。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 利用したことがある。 2. 利用したことはない。 3. 補助制度があるのを知らなかった。

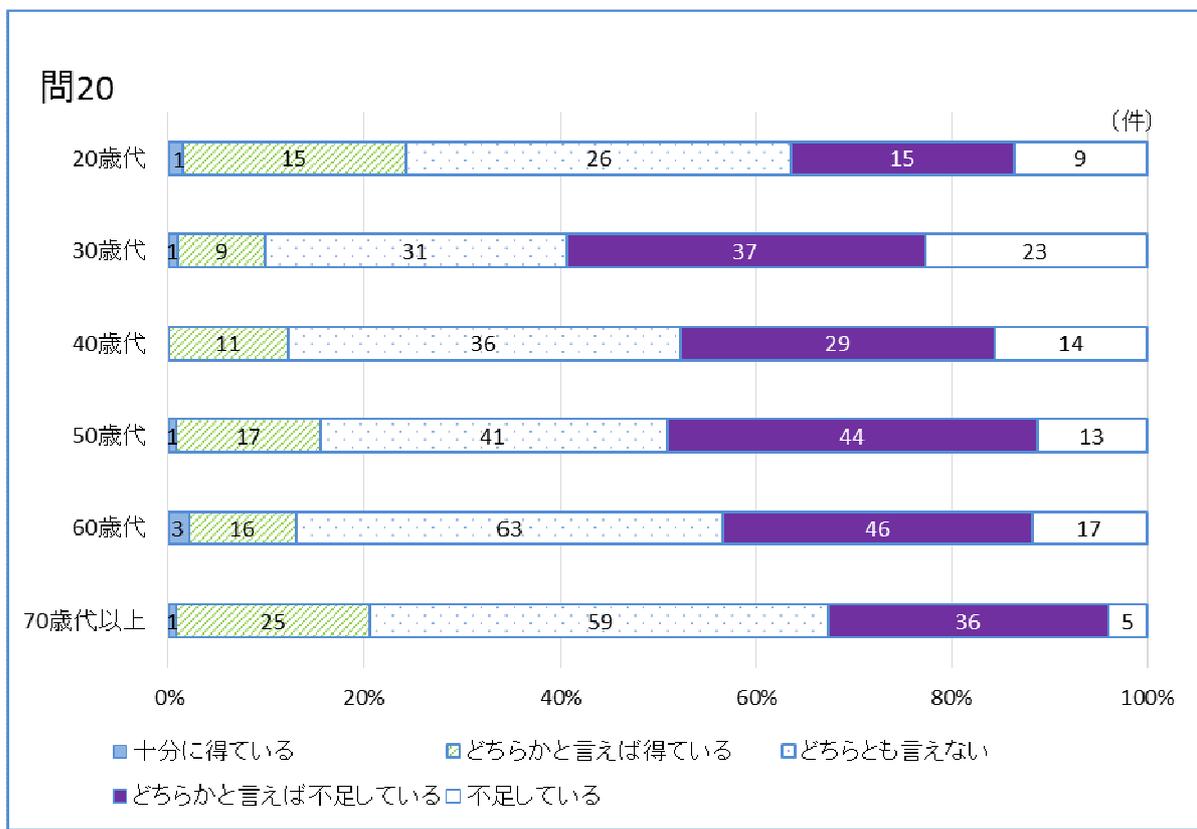
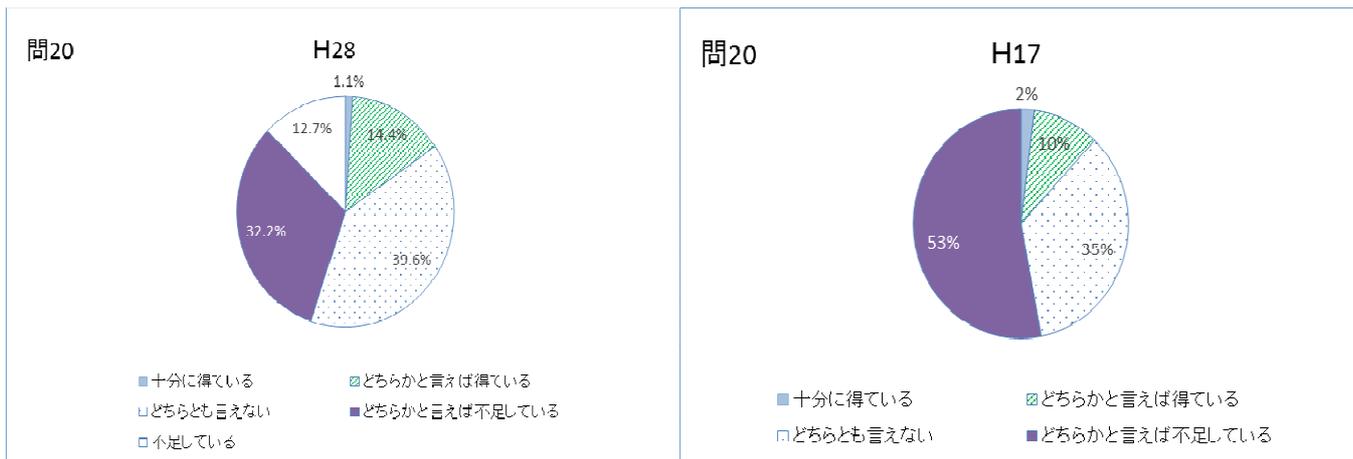
「生ごみ堆肥化容器補助金交付制度」については、「利用したことがある」が全体の約1割にとどまり、34%の人が「補助制度があるのを知らなかった」と回答しており、H17の「知らなかった」29%を上回った。



問20. “環境に関する情報の提供”について伺います。環境に関する情報は十分に得られていますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 十分に得ている。 | 2. どちらかと言えば得ている。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. どちらかと言えば不足している。 |
| | 5. 不足している。 |

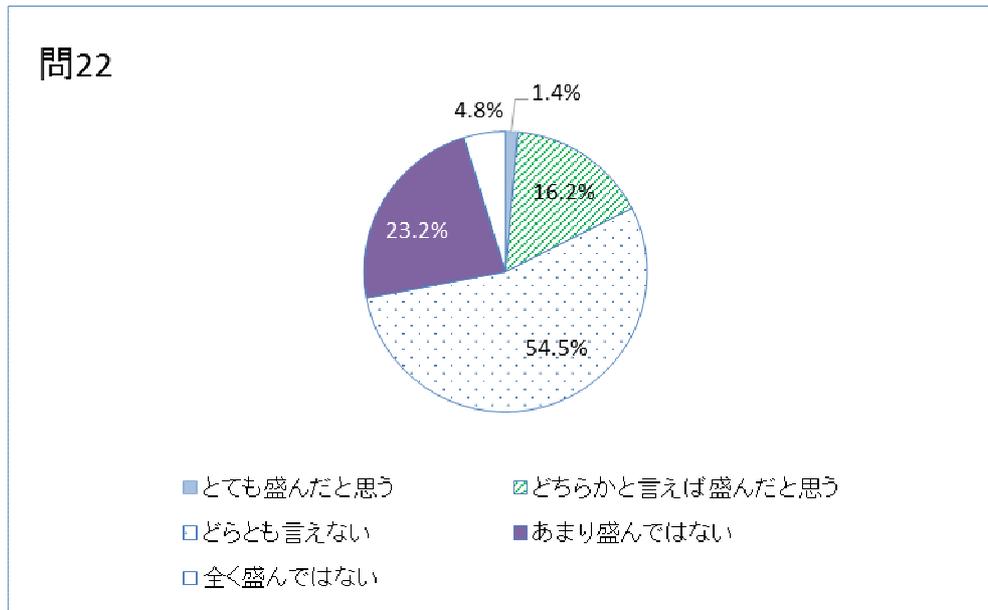
「環境情報を集約・発信する」では、環境情報の収集状況を尋ねたところ、「どちらかと言えば不足している」と「不足している」が44.9%となっている。H17の「どちらかと言えば不足している」53%から減少している。



問22. 大網白里市の“環境に関するボランティア活動”は、盛んだと思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|--------------------|--------------|
| 1. とても盛んだと思う。 | 2. どちらかと言えば盛んだと思う。 | |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまり盛んではない。 | 5. 全く盛んではない。 |

ボランティア活動については、「どちらとも言えない」が 54.5%、「あまり盛んではない」が 23.2%、「どちらかと言えば盛んだと思う」が 16.2%となっている。



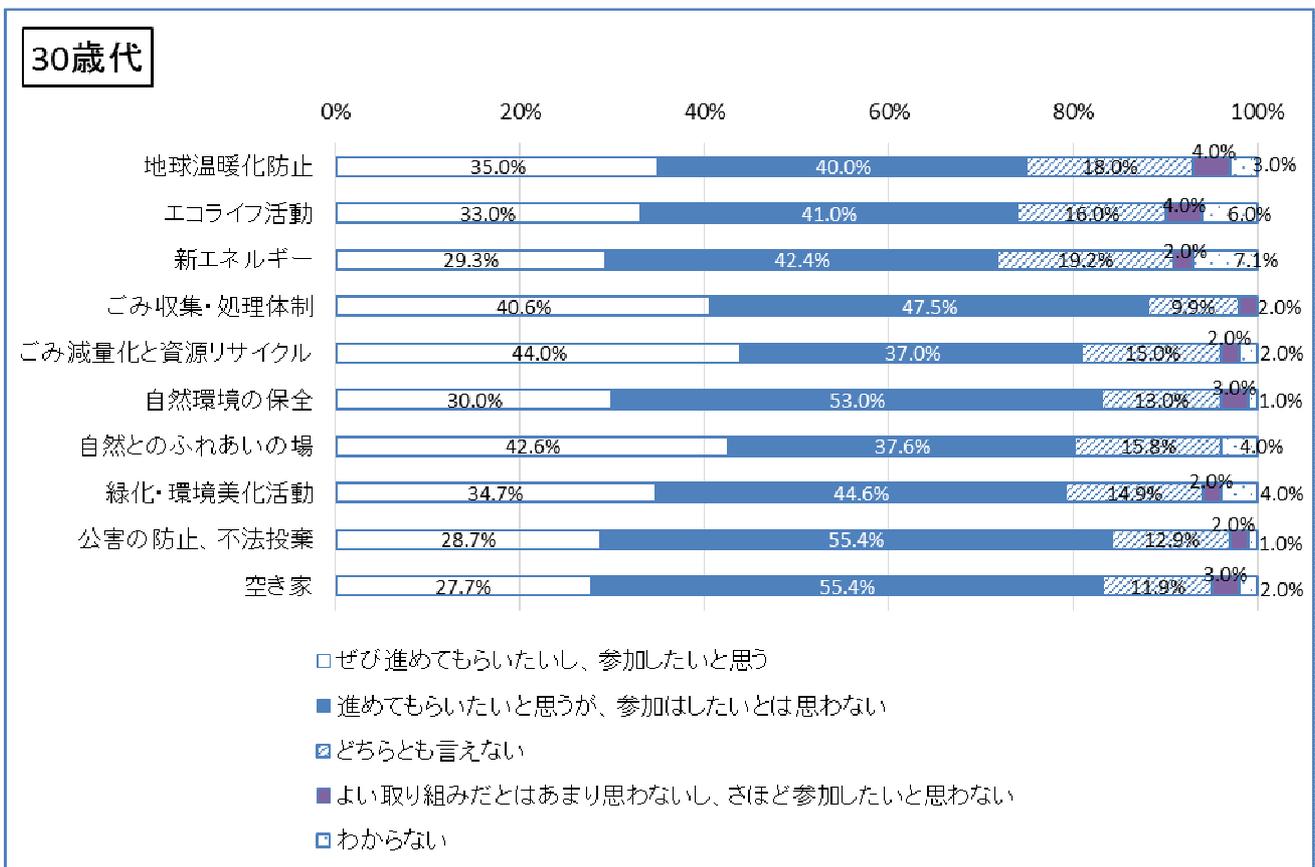
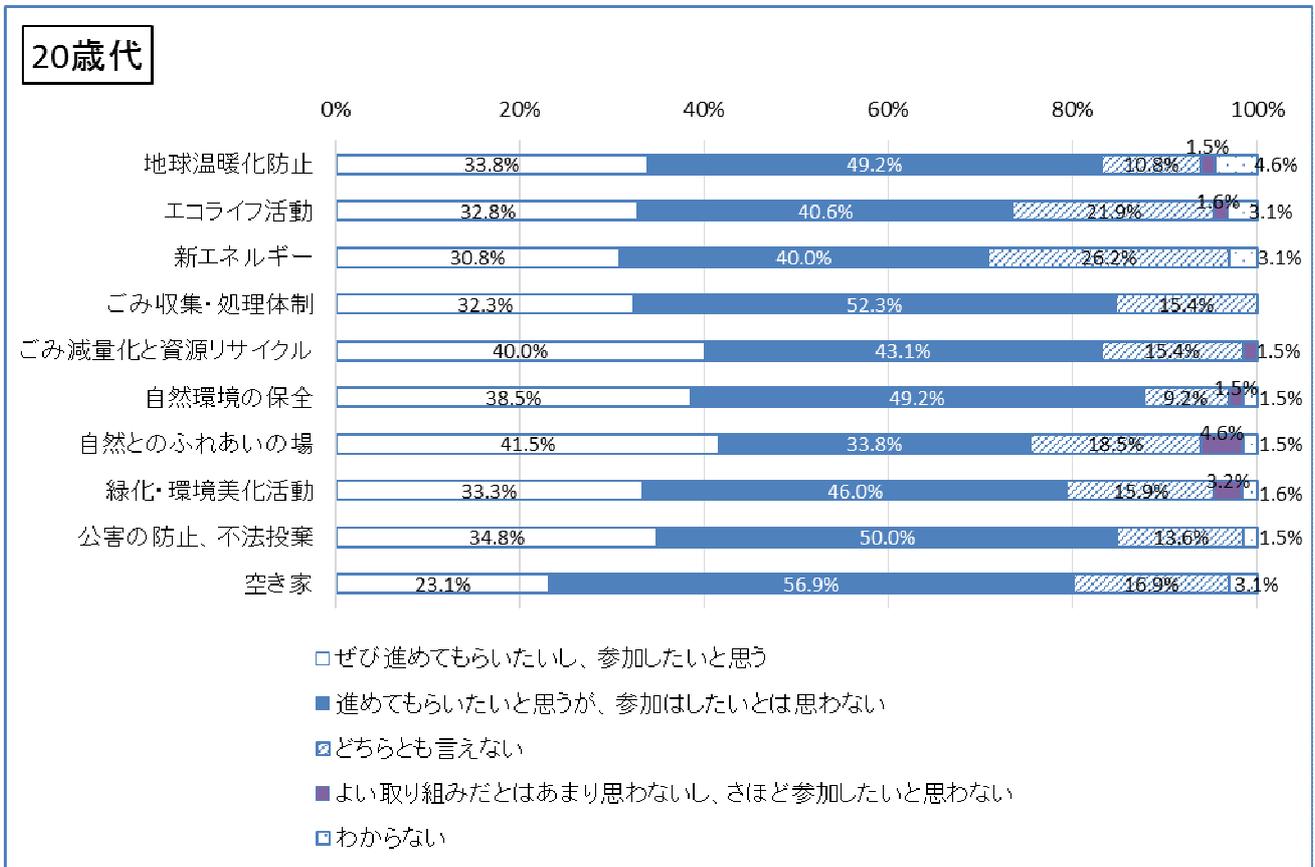
問23. 大網白里市第5次総合計画にある環境についての政策についてお伺いします。あなたは、下の10の取り組みについて、どのように思われますか？取り組みごとに、あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

	1.ぜひ進めてもらいたいし、参加したいと思う。	2.進めてもらいたいと思うが、参加したいとは思わない。	3.どちらとも言えない。	4.よい取り組みだとは思わないし、さほど参加したいと思わない。	5.興味（関心）がない。または、わからない。
1.地球温暖化防止の推進	1	2	3	4	5
2.エコライフ活動の促進	1	2	3	4	5
3.新エネルギーの利用	1	2	3	4	5
4.ごみ収集・処理体制の充実	1	2	3	4	5
5.ごみ減量化と資源リサイクルの推進	1	2	3	4	5
6.自然環境の保全と管理	1	2	3	4	5
7.自然とのふれあいの場づくり	1	2	3	4	5
8.緑化・環境美化活動の推進	1	2	3	4	5
9.公害の防止、不法投棄対策	1	2	3	4	5
10.空き家への対策	1	2	3	4	5

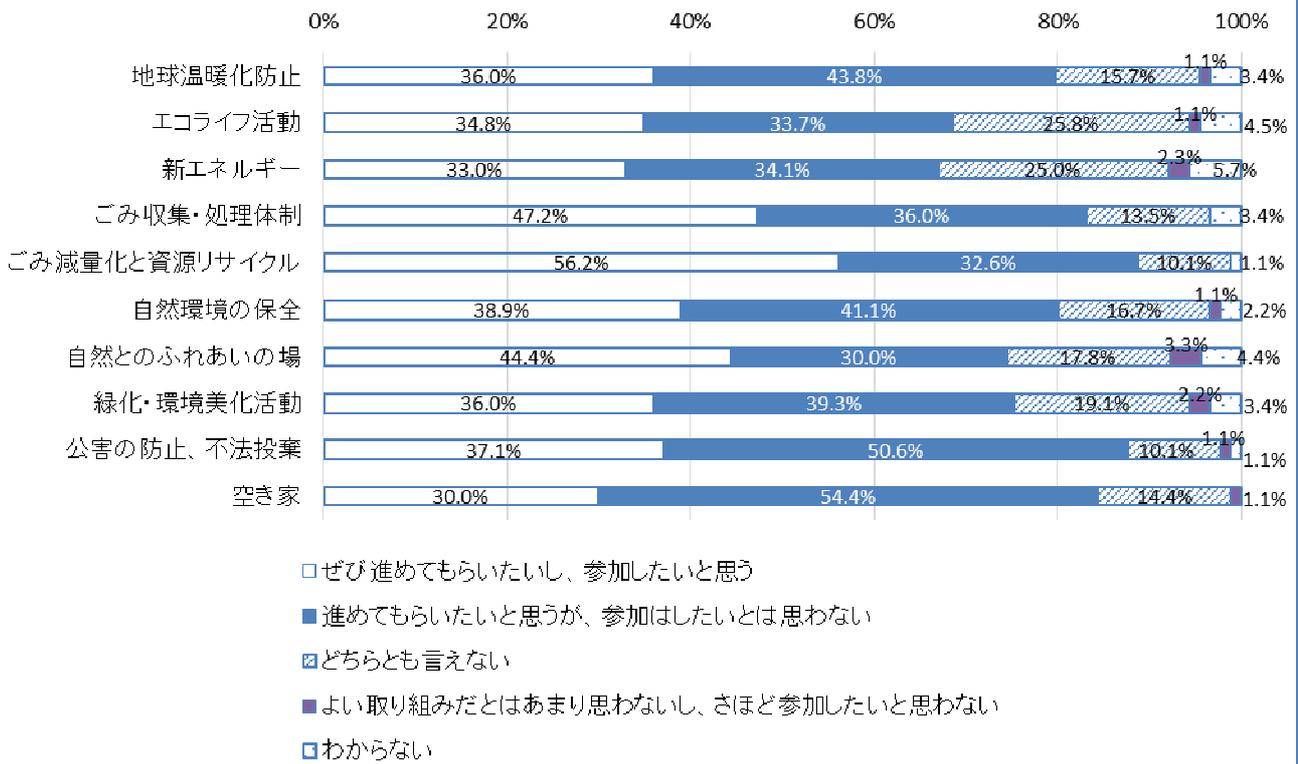
第5次総合計画の施策については、以下のような回答が得られた。

「ごみの減量化と資源リサイクル」「ごみ収集・処理体制」「公害の防止、不法投棄」はどの年代においても高くなっている。

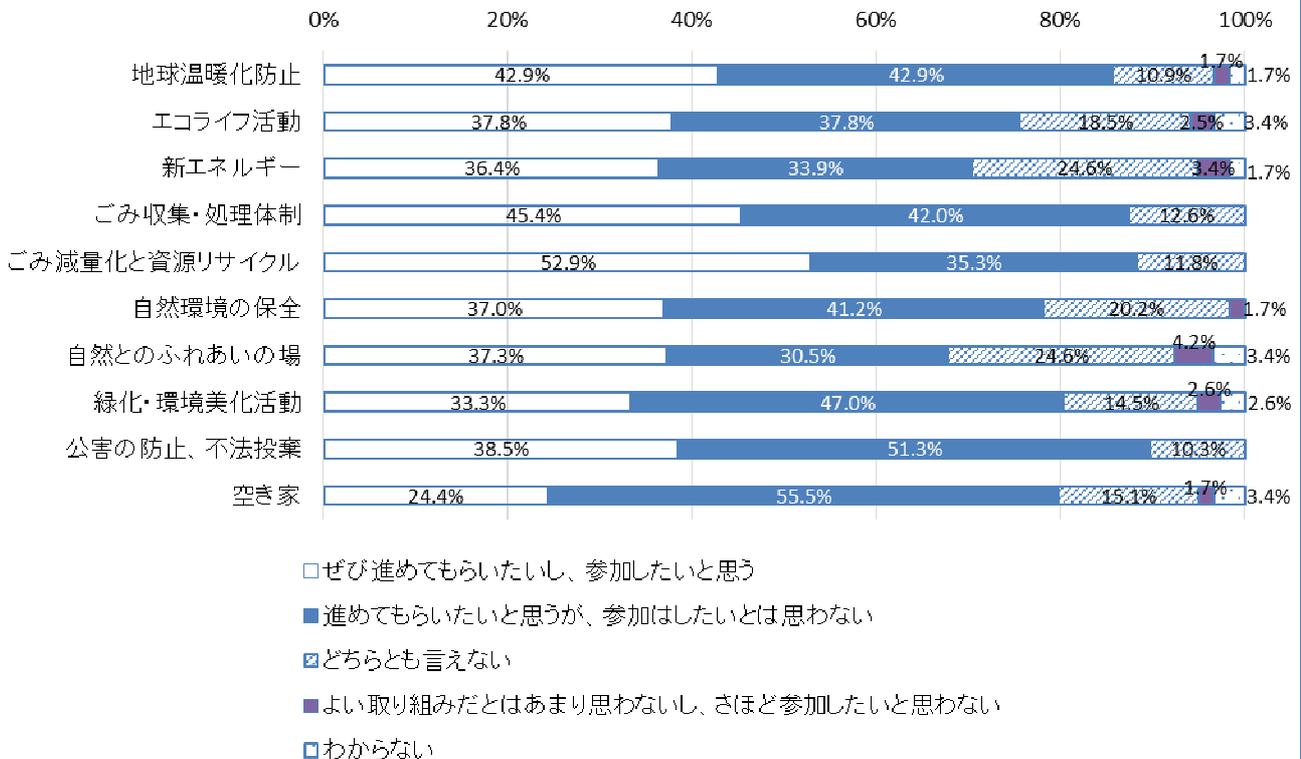
「緑化・環境美化活動」は50歳代以上で高くなっており、「空き家」は50歳代以下で高くなっている。



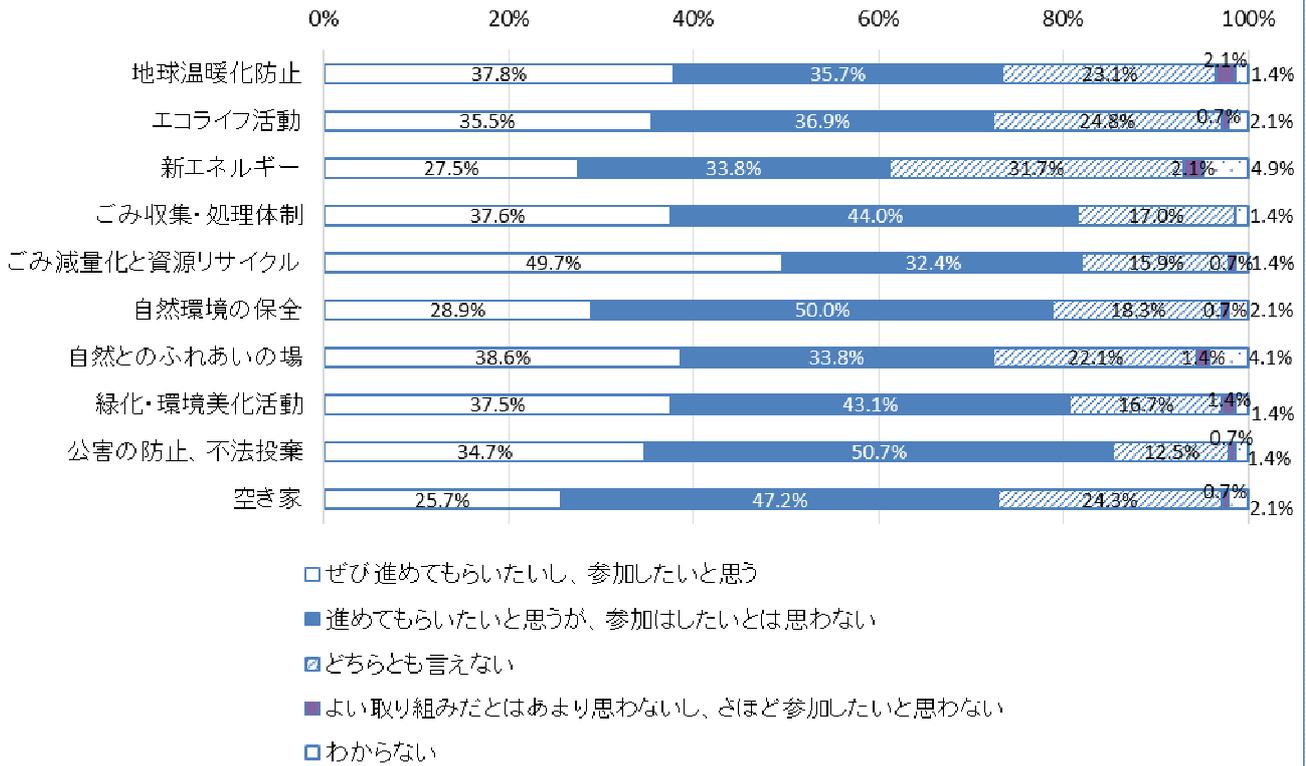
40歳代



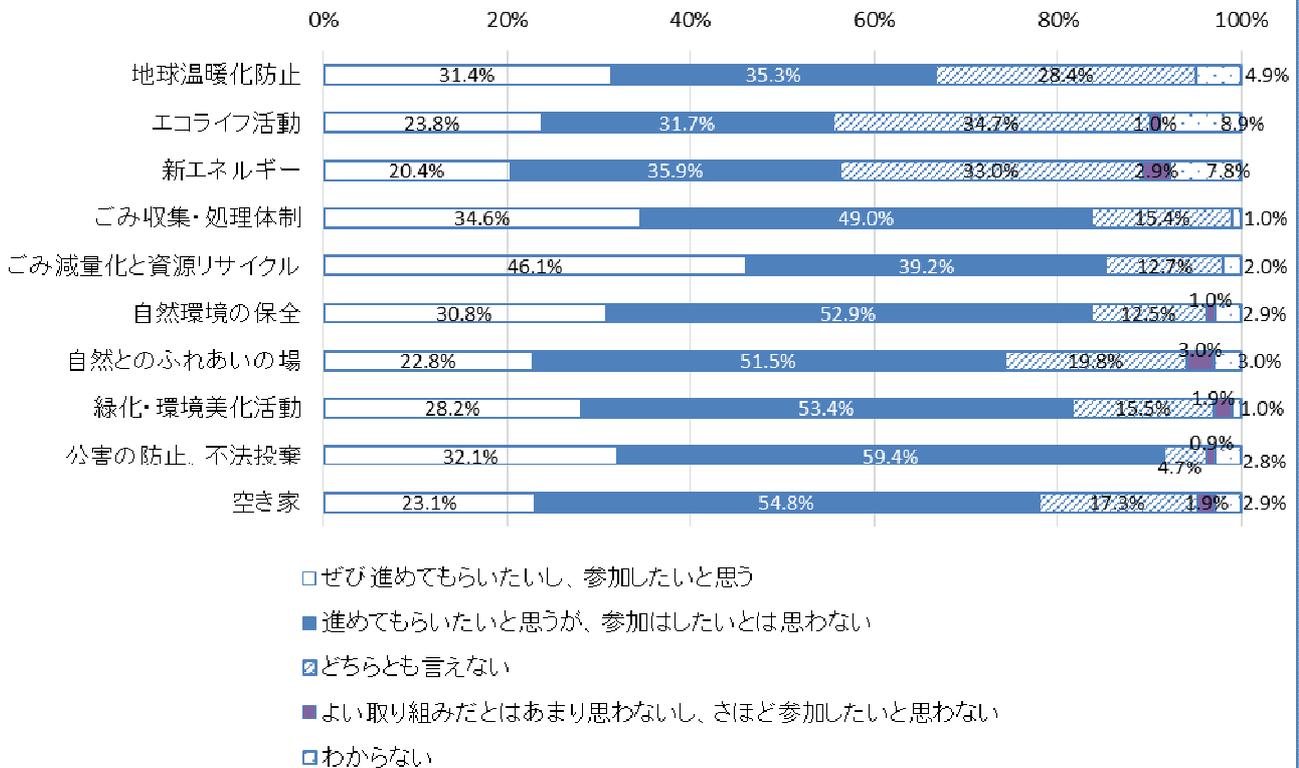
50歳代



60歳代



70歳代以上

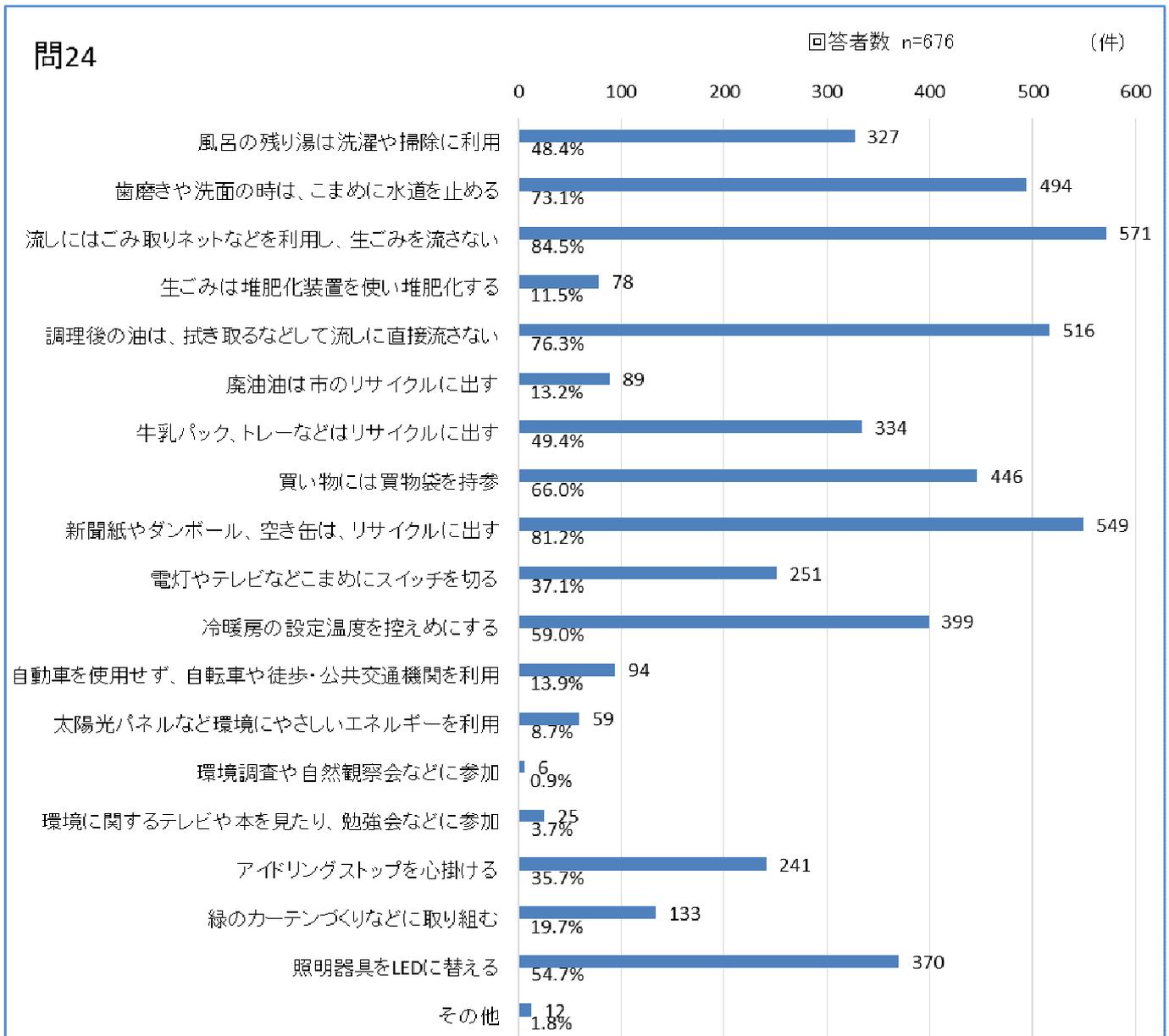


市民が、日常生活の中で取り組んでいることがらの状況についての結果は、以下のとおりであった。

「流しに生ごみを流さないようにしている」は、回答者の中の 84.5%とかなり高い割合で取り組まれていることがわかった。他にも「新聞紙、段ボール、ビン、空き缶はリサイクルに出す」(81.2%) や「調理後の油は流しに直接流さない」(76.3%) などについては多くの市民が取り組んでいるという結果になった。H17 も同様に上位 3 つとなっていた。

一方、「環境調査や自然観察階などへの参加」、「環境に関する勉強」などへの取り組みは低い割合となっている。

その他の回答では、「電気自動車を使用している」や「雨水を利用している」が複数回答あった。



問27. 環境を維持していくためにはどうしたら良いでしょうか。ご意見・アイデアをお聞かせください。

(主なもの) ※趣旨に変更を加えない範囲で加筆・修正しています。

- ・自分自身が「環境」に対し知識を得る事。
- ・道徳の問題だと思う。
- ・ボランティア活動や廃品回収を積極的に行った方がいい。ポイ捨ての規制、川のごみ拾いもやるべき。
- ・大網白里市には田、森、海など多くの自然があり、空気もとても綺麗な市だと感じているので、この自然を保全しながら、今後も住みやすい市作りに取り組んでほしい。
- ・駅利用者が増え、大網駅周辺の交通環境などの改善。将来を担う若手の意見も大切にして若い世代が集まる街づくり。
- ・自分の住んでいる所の人達が輪を作り、助け合うことが一番で、近く的环境作りからが大切です。周りを見てから気になることがわかればそこからです。
- ・市の現状（ゴミ、水路、海、空き地など）がわかるようにしてほしい。
- ・市民一人ひとりが環境への意識を高めていくようにする。
- ・空き家はたくさんあるので再利用を考える。
- ・道路、歩道の整備。暮らしやすい街づくりを行い、環境維持に関心を持ってもらう。市民の協力が不可欠かと思う。
- ・行政ではなく住民ができることをできる範囲で継続していけるような取組を検討してみる。
- ・太陽光パネル設置に伴い森林伐採が多く見られるようになったが、新エネルギーを優先にするのか、自然破壊を防ぐのか検討の時期が来ている。
- ・可能な道路には特色ある街路樹の街道を作りきれいな街づくりをする。ゴミなどを捨てさせないまちにするような政策をする。
- ・行政が「環境に関する目標（何を・いつまでに・ここまでする）」を明確に定め、それに基づく情報提供、イベント、組織体制、補助支援等を策定し進めていくのが良いのではないかと考えます。
- ・一人ひとりが環境を保全しようという意識を持つことが大切だと思います。そのような施策が必要だと思います。
- ・「ゴミの不法投棄及びポイ捨ての厳罰化」区画整理地内の道路、公園などの樹木の剪定や草刈りは住民が行うようにする。
- ・年々砂浜が狭くなっているように思われます。市と県が協力をして対策を考えて頂きたいと思います。
- ・資源ゴミの収集ですが、現在の袋に入れて収集する方法より千葉市方式のコンテナ等を使つての収集の方が家庭の経済的負担も減る上にゴミ袋を燃やすことによる公害防止にも役立つと思う。
- ・公衆道徳、マナーの問題だと思います。市民の意識レベルが低いので罰則強化しか対策はないでしょう。補助金等、税金を使った推進策には反対です。
- ・山、川、海の手入れと野生動物（タヌキ、キジ、オオタカ等）の保護
- ・環境の保全維持は根気よく継続し続ける必要がある。複数の施策を組み合わせ、市民・ボランティア等のやる気を引き出すように進める。
- ・要は市民一人ひとりの環境美化（保全）意識を常に持つ事だと思います。自分の身の周りから気の付いた事、例えば家の周りに放置、捨てられているゴミ袋、空き缶等処理する等から始めるのが大事ではないでしょうか。
- ・各自が自分の家の周辺の清掃を心掛けることが大切。
- ・日本国内の社会的な環境等を勉強する。
- ・環境対策は多岐に渡るのでカテゴリを分けて検討し優先順位をつけて行う。

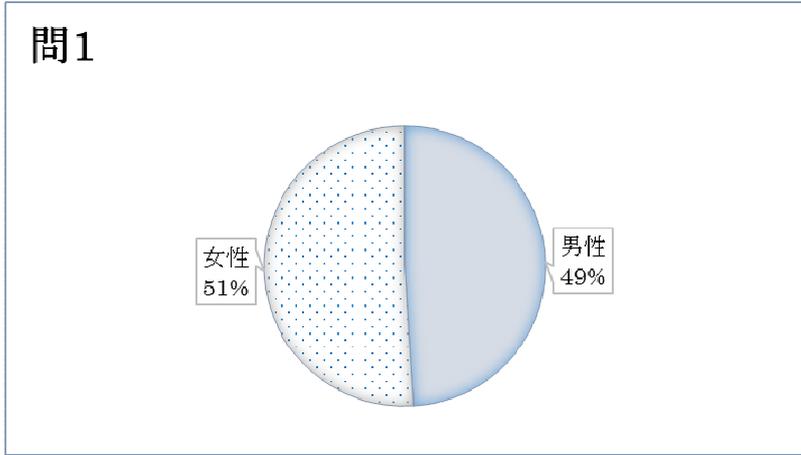
- ・不法投棄をなくすための看板の設置。
- ・日頃から各家庭内で話し合う機会を持ち、家庭でできる小さなことから各自で自覚を持ち取り組んでいく。
- ・美化活動に取り組んでいる人たちがいることは知っており、おかげ様で海や駅、市街地などがきれいに保たれて気持ちがいいです。自分も興味はありますが、時間がなかなか作れないので、直接的でなくでも自分が関わっていると感じられるように募金などがあれば協力していきたい。
- ・ごみが道端等に落ちていると自分も捨てちゃえと思って捨ててしまうと思うので定期的なゴミ拾い活動をする。
- ・街中のポイ捨てが結構目立つのでゴミ拾い活動がもっとあってもよいと思う。花を植える活動もきれいになるのもっと増えてもよいと思う。
- ・新たな自然を増やすより、今ある森林の手入れをして見栄えよくした方が自然への関心が高まると思う。
- ・オープンガーデンの開催をもっと周知する。
- ・個人の意識の向上が必要。生ごみコンポストへの助成の増額、経年劣化の年数を短縮化。雨水タンクの助成。草紀木専用の低価格なゴミ袋。
- ・すぐに環境をよくしようではなく、ゆっくりと少しずつ良くしていけばいい。花が増えると散歩しているときなど気持ちよくなる。
- ・休耕地の活用「田んぼの学校」のような機会があればいい。
- ・一人一人の意識を高めるため定期的にお知らせを行う。ごみの分別の方法を市ホームページに周知専用の場所を設ける。年配の方でも不用品を気軽に出せるようにする。
- ・一人一人が意識を高めてポイ捨ては絶対にしない。自宅周辺にも目を向けてきれいにしていく。情報が入りやすいように市は取り組む。
- ・通学路などの雑草の整備を地域の方々で行うと地域の交流にもなる。
- ・道路が汚いとポイ捨てする人がいるので道路をきれいにする。
- ・ごみを減らしたり街をそうじなどして美しくすることは個人でも可能なので情報提供やしきみ作りを市でもやってもらとうれしいです。リサイクル倉庫などのさらなる充実。個人では難しいものは行政での解決を望みますが、個人でも解決できる受け皿があれば実行できる事が増えると思います。
- ・市民への周知を行った方がいい。駅やスーパーなどにあれば目にすることも増える。
- ・市内のエコポイント制度を作る。（市内の循環バスを使うと住民票などの手数料がタダとか）
- ・一人一人の意識改革が必要、幼稚園や小中学校の子供たちや親も巻き込んでイベントなどを積極的に行っていく。九十九里の砂浜の減少等地球温暖化の影響を身近に感じるように映像や展示を行う。
- ・空き家について、学生のシェアハウスにして近隣のお年寄りのゴミ出し声掛けなど交流をもつ。
- ・この問題はとても大きな問題で難しいです。便利になっていく世の中で困る事悲しい事も多くなっていると思います。緑多い場所や木陰がもっとあったらいいなと思います。大きな木やきれいな花など見ていつも気持ち落ち着きます。一人ひとりがあまり欲を出さず自然など大切にすることを忘れなければいいのではないかなと思います。
- ・学校、家庭で「なぜ環境維持が大切なのか」その理由と現況を確認して話し合う時間を少しでも持てると思います。
- ・子供の頃から環境美化について大人も交えて学ぶことが必要で意識させる。地域でも自治会等で学ぶ機会を作る事も大事だと思う。
- ・幼稚園等なるべく幼いうちから環境について現状から未来、身近な周囲から世界宇宙までと簡単に分かりやすく楽しく伝えていく環境教育をお願いします。「幼稚園でこんな話があったよ」と家庭で会話できる、そんな環境作りができるといいと思います。

- ・ポイ捨て等は小さい頃から、学校、家庭等で普段から習慣をつける必要がある。また温暖化は深刻な問題であることを小学生、中学生、高校生、成人に知ってもらえる講演会等を開くと良いのでは？
- ・意識の向上、できることからの取組を行い、幼・小・中での環境教育、家族みんなでの取組、一人ではなくみんなで行うことが大切だと思います。
- ・小学生の頃から学校、社会等で話し合い、勉強の材料としたら良いのではないか。私達の町を知ることとて。
- ・大網白里市は公共の交通機関が充実していないので考えてほしい。車を使わなければどこへも行けません。
- ・川沿いや線路沿いなど定期的に見回り雑草を刈ることで安心して散歩できるようにしてもらいたい。
- ・河川の汚れについて原因などを調査して少しでもきれいになるように取り組んでももらいたい。また、その結果などを公報で発表してもらいたい。
- ・駅から海までのサイクリングロード又はウォーキングロードを整備すればグリーン化も進むのでは。
- ・空地等使用していない場所を使用したい人に提供して使ってもらえるようにしてもらいたいと思う（菜園等）
- ・住民との組織体制を作る①防犯組合のような組織②区長が環境委員を兼任する③環境に関する目安箱の設置。
- ・排水路を掃除しているが、少人数では手に負えず、高齢化も進むので住民が参加したりするとポイント制などにするなど興味を引いてみては。
- ・農地や里山の緑は当然有機物なのでごみが生じ続けます。保持作業のための助成を出すことや定期的な回収を行えば緑の環境は維持されやすくなると思います。いろいろニーズを聞き広い視野と深い考えを持って環境維持の百年の計を立てる時期にきていると思います。
- ・今後、環境が悪化したときにそのことを早く知るためのネットワーク作りが重要だと思う。
- ・環境と云うとあまりにも大きい。何か1つでも2つでも分けて市民全体で取り組みするような体制作りなど考えてはどうか。
- ・他の自治体での良い例を参考にする。
- ・緑が多くて空気もきれいでとても良い環境ですが手入れしなければ荒地となってしまいます。人が訪れるような里山のイベントなどがあればいいと思います。ごみ捨てに関して相談できる窓口があれば助かります。
- ・緑豊かな市を里山としていつまでも空気の良い市を作り静かな市としての環境をこのまま維持してほしい。
- ・環境維持は家庭から地球レベルまであるので自分たちにできる事私生活でできる小さな事を情報交換、市やボランティアが発信していけば自分一人がやっても環境は良くなるという考えが減ると思う。家庭でできる項目を市の広報で毎月1つつけて実践していけば大きくなる。
- ・「誰かのため」になっているという幸せを感じる心を育てることが大切では。
- ・水田や海、里山があり豊かな自然環境の中で暮らすことの良さをアピールできる地域ではないか。過度な発展や便利さの追求ではなくリデュース精神に則った本当に必要な便利さを追求していく。農業や収穫体験を市内外問わず募ったり、体験・見学・講演・イベント等で身近に3Rを転がしておいたら文化として根付きそうです。
- ・観光客がまず目にするのは道路だと思うので道路脇等のごみや雑草の対策を行う。

3) 子どもアンケート調査結果

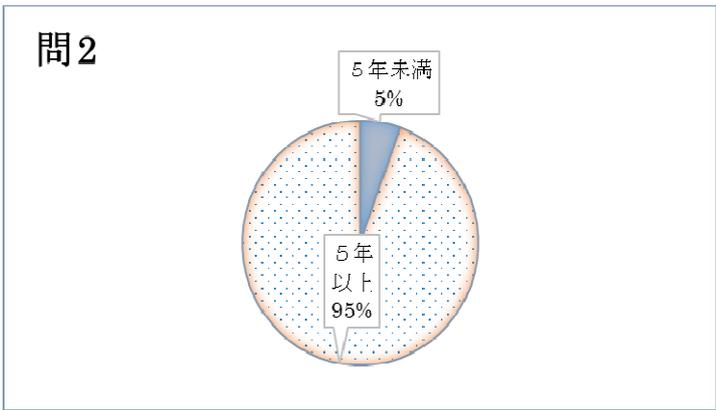
問1. あなたは、男の子ですか、女の子ですか。

1. 男 2. 女



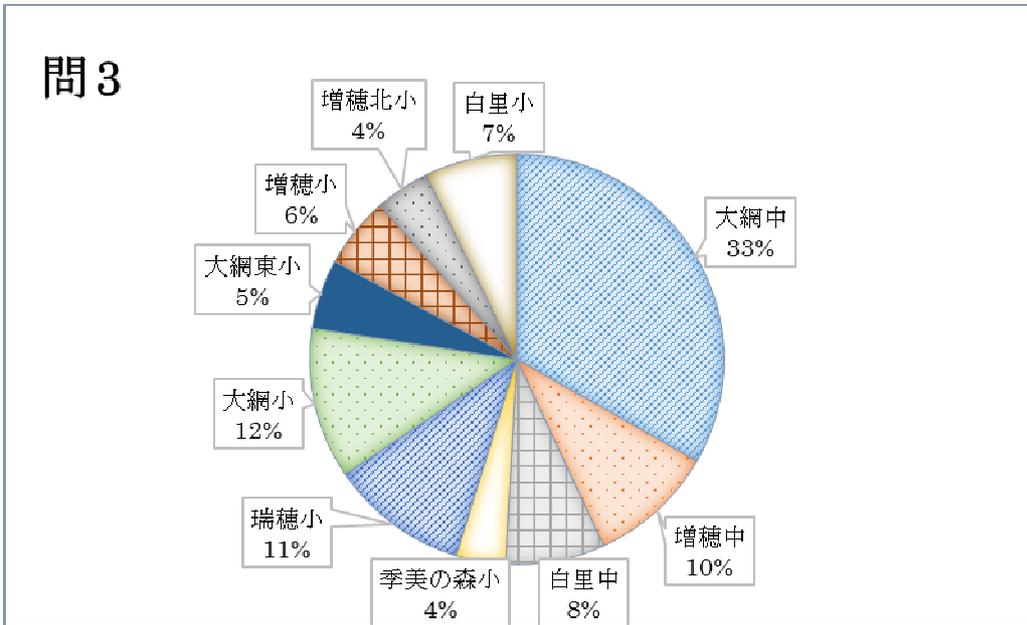
問2. あなたは、大網白里市に何年住んでいますか。

1. 5年未満 2. 5年以上



問3. 学校名を教えてください。

- < 小学校／中学校 >

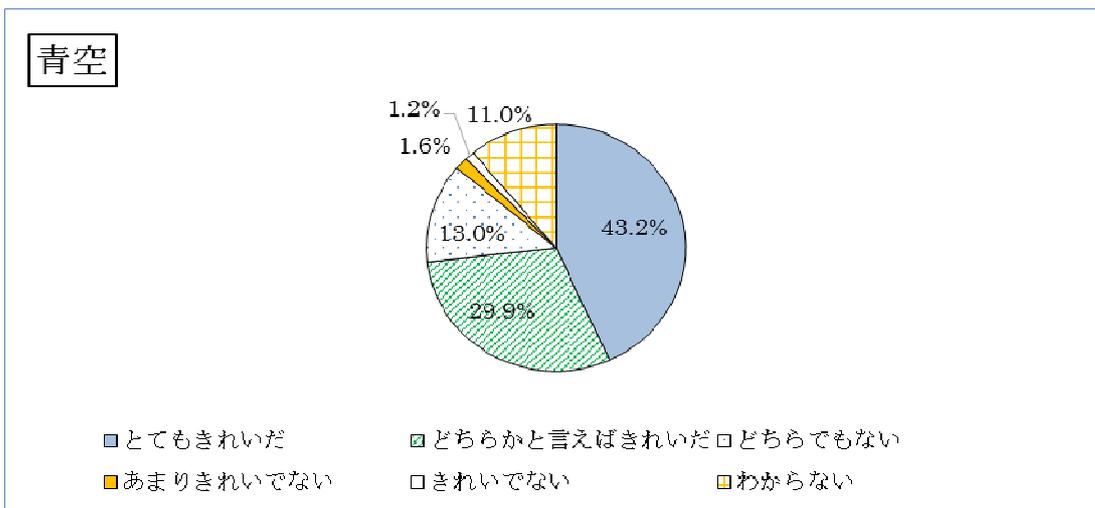


問4. 大網白里市の“青空”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりきれいではない。 |
| 5. きれいではない。 | 5. わからない。 |

青空に対する評価は、「とてもきれいだ」(43.2%)と「どちらかと言えばきれいだ」(29.9%)の肯定評価を合わせると73.1%になっている。

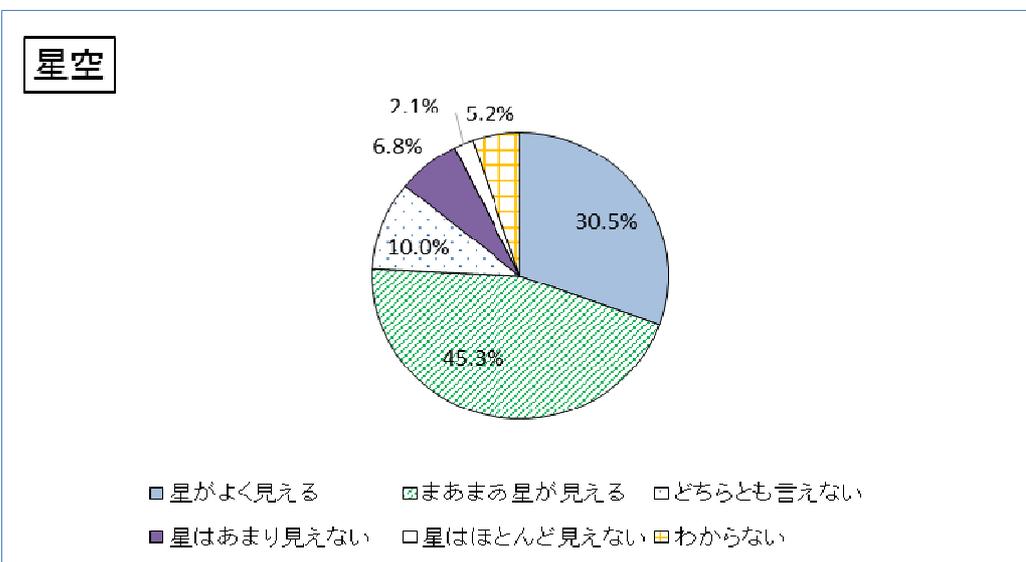
市民アンケートが「とてもきれいだ」(27.4%)であったのと比較すると、“青空”については、こどものほうが「とてもきれいだ」が高い評価であったことがわかる。



問5. 大網白里市の“星空”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

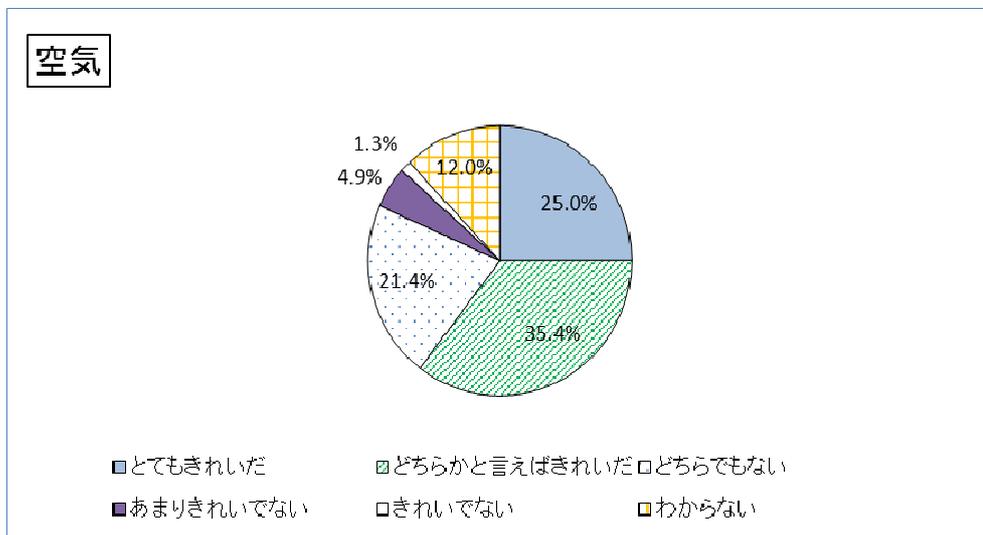
- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 星がよく見える。 | 2. まあまあ星が見える。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. 星はあまり見えない。 |
| 5. 星はほとんど見えない。 | 5. わからない。 |

星空に対する評価は、「よく見える」が30.5%、「まあまあ見える」が45.3%で、これらを合わせた肯定評価は75.8%で、市民アンケートの82.9%よりもやや低くなっている。



問6. 大網白里市の“**空気**”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

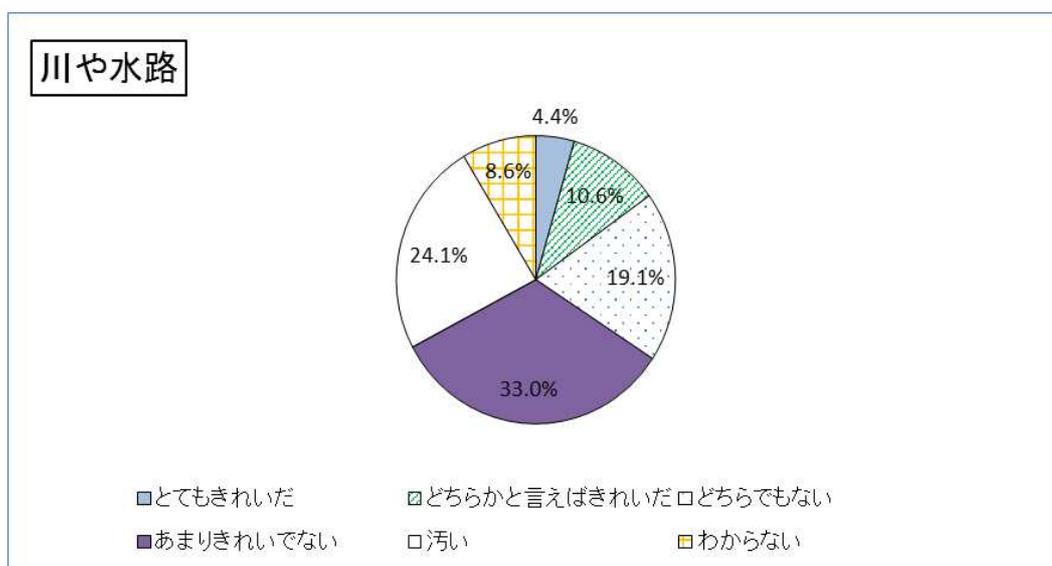
- | | |
|---------------|------------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりきれいではない。 |
| 5. きれいではない。 | 5. わからない。 |



問7. 大網白里市の“**川や水路**”について、あなたはどのように思いますか。川や水路はたくさんありますが、あなたが市内で思いつく川や水路について、あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりきれいではない。 |
| 5. 汚い。 | 6. わからない。 |

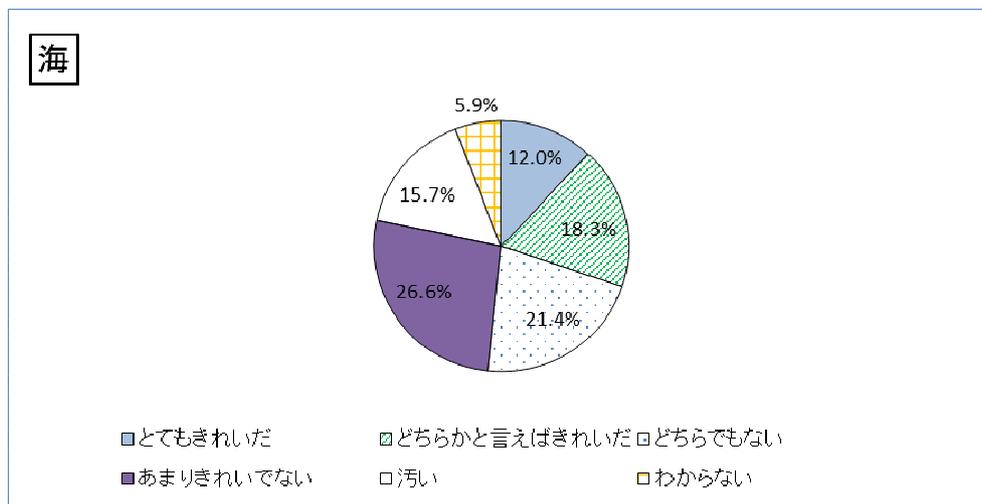
川や水路についての評価は、市民アンケートの結果と同様に最も低く、肯定評価は全体の15%であり、否定評価は57.1%となっている。



問8. 大網白里市の“海”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. とてもきれいだ。 | 2. どちらかと言えばきれいだ。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりきれいではない。 |
| 5. 汚い。 | 5. わからない。 |

海についての評価は、否定評価が 42.3% と川・水路に次いで高くなっている。

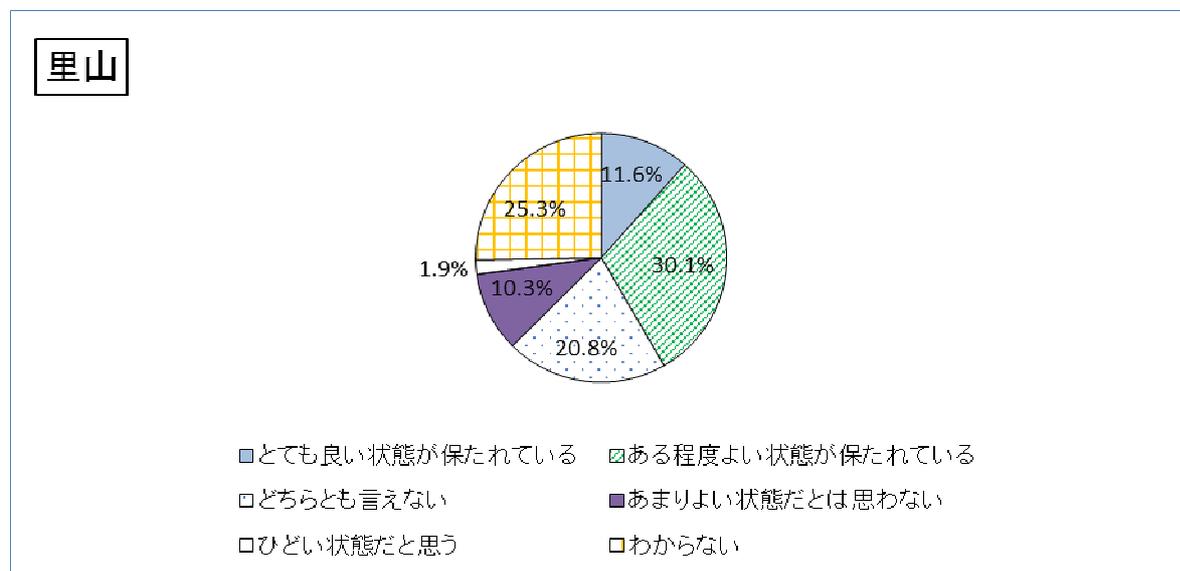


問9. 大網白里市の“^{さとやま}里山^{*}”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

(※“里山”とは、たき木や炭、^{おちば}落葉など暮らしに活用した林のことを呼んでいましたが、今では田んぼや畑、小川、原っぱ、草地、ため池、^{そうきばやし}雑木林などがある場所のことを指すようになっていきます。)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. とてもよい状態が保たれていると思う。 | 2. ある程度よい状態が保たれていると思う。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりよい状態だとは思わない。 |
| 5. ひどい状態だと思う。 | 6. わからない。 |

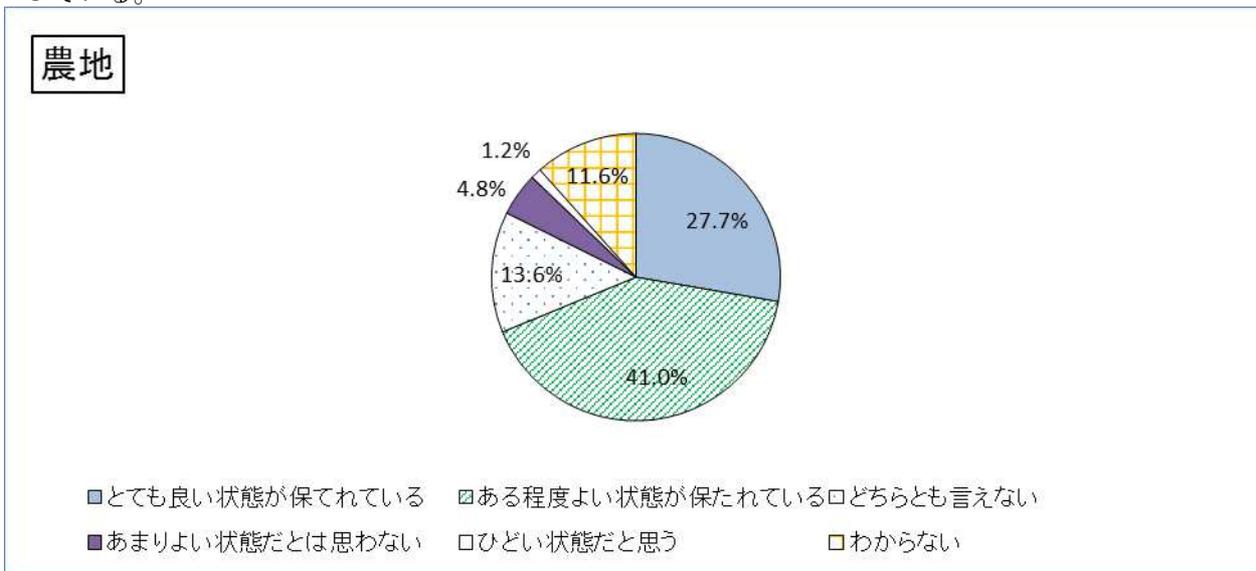
里山についての評価は、肯定評価が 41.7%、否定評価は 12.2%と肯定評価が否定評価を大きく上回った。



問10. 大網白里市の“農地”（田んぼや畑）について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. とてもよい状態で保たれていると思う。 | 2. ある程度よい状態が保たれていると思う。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまりよい状態だとは思わない。 |
| 5. ひどい状態だと思う。 | 6. わからない。 |

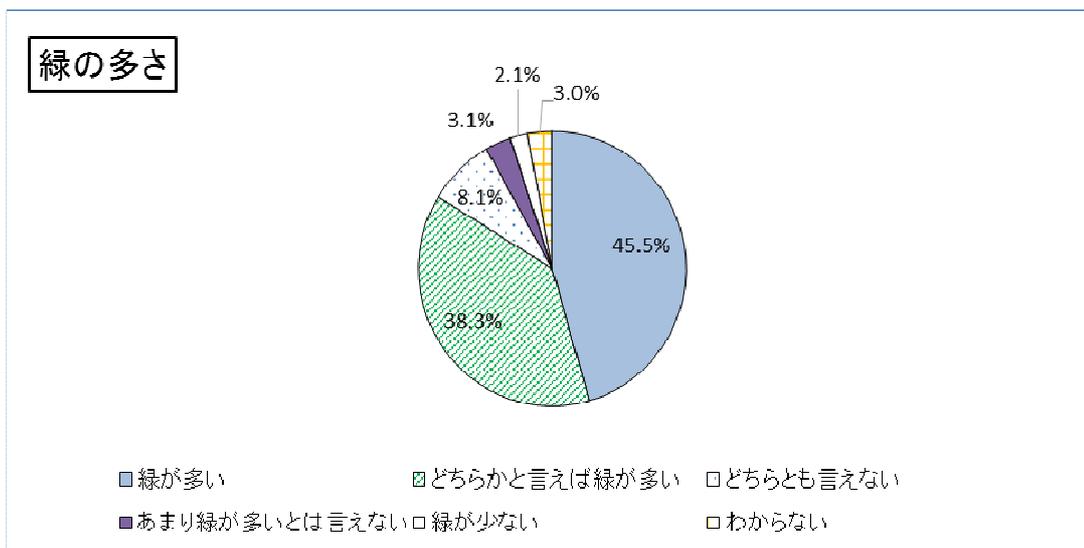
農地についての評価は、肯定評価が約7割を占めており、市民アンケート結果の45.4%を大きく上回っている。



問11. 市内の“緑の多さ”について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものの番号に1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 緑が多い。 | 2. どちらかと言えば緑が多い。 |
| 3. どちらとも言えない。 | 4. あまり緑が多いとは言えない。 |
| 5. 緑が少ない。 | 6. わからない。 |

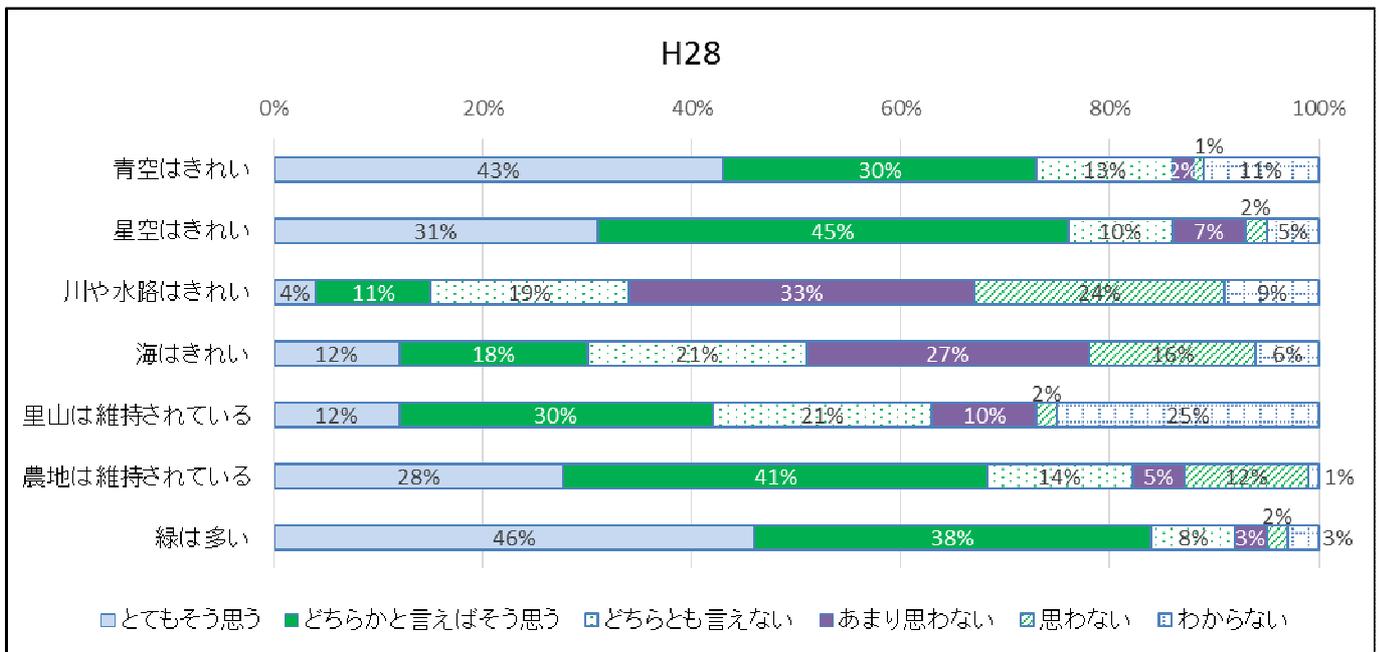
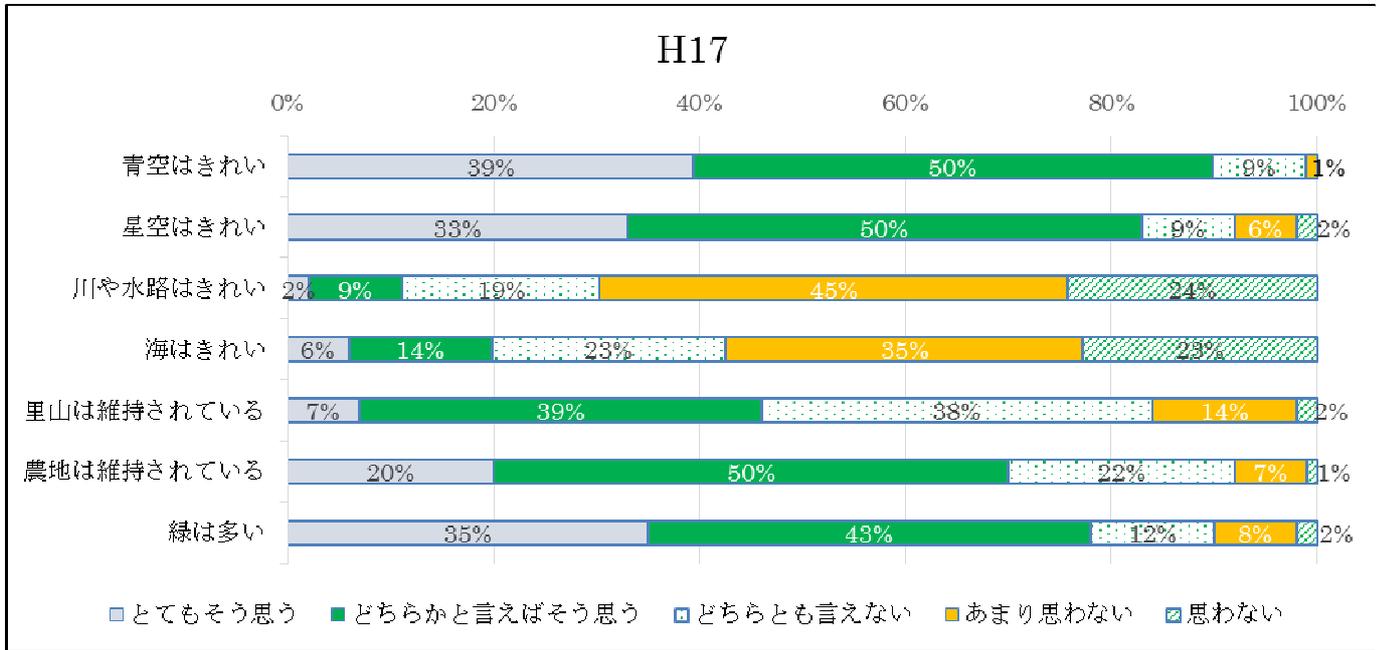
緑の多さについては、肯定評価が83.8%と、青空、星空ともに高くなっている。



◇第1次環境基本計画の目標について

第1次環境基本計画での目標に関する事項に対する子ども達の現状認識についてH17とH28を比べてみると、次のような結果となった。

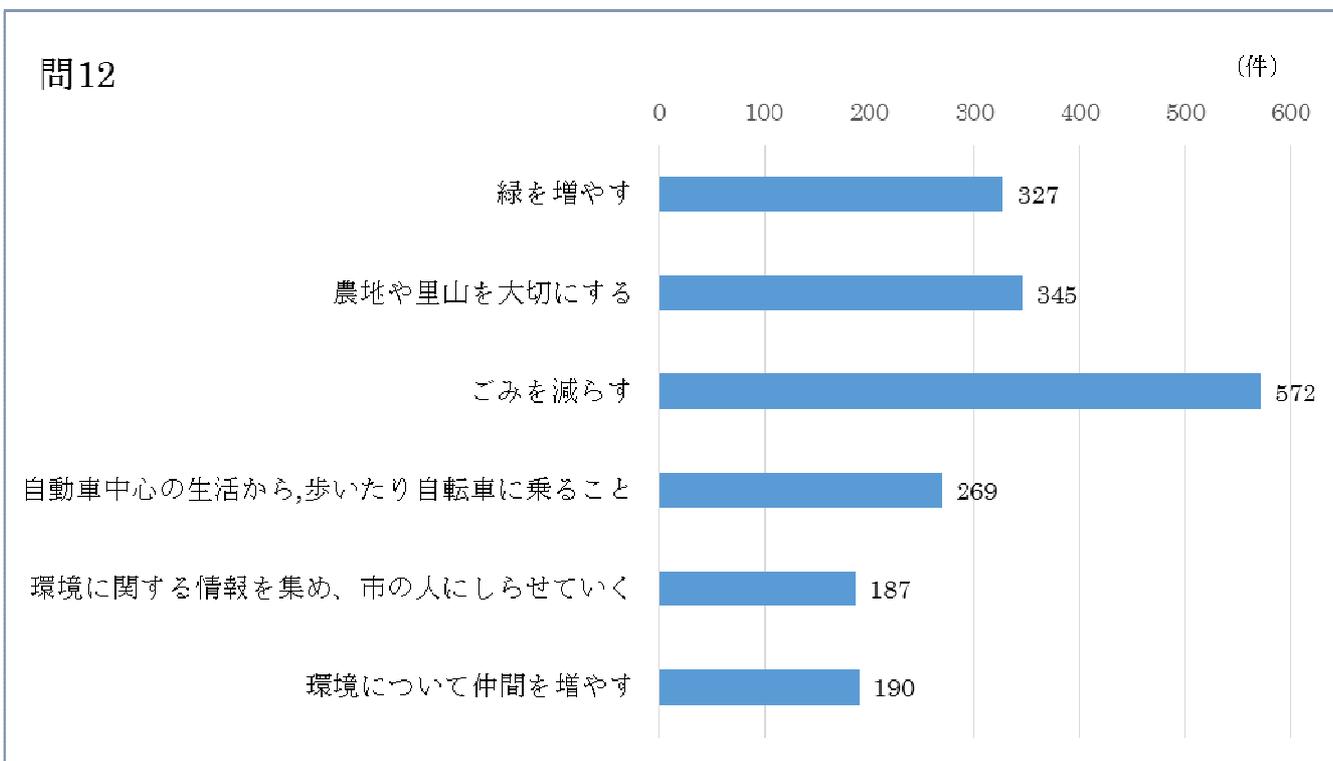
「青空はきれい」「星空はきれい」の肯定評価がいずれも低くなり、「海はきれい」の肯定評価は10%高くなり、「緑は多い」の肯定評価も高くなった。



問12. 現在、大網白里市の環境をより良いものにするためには、何をしていくとよいと思いますか。重要だと思うものを3つまで選び、あてはまるものの番号に○印をつけてください。

1. 緑を増やす。(市の中に緑を増やし、いろいろな生き物のいる環境をつくれます。)
2. 農地や里山を大切にする。(自然環境で重要な場所である農地や里山を大切にしていきます。)
3. ごみを減らす。(ごみ分別、生ゴミの肥料化などにより家から出すごみの量を減らします。)
4. 自動車中心の生活を見直し、安全に楽しく歩いたり自転車に乗れることを考える。
5. 環境に関する情報を集め、市の人に知らせていく。(地球や日本や大網白里市の環境がどうなっているか、環境対策の技術がどうなっているかなどの環境に関する情報を、市民にいつでも伝えることができるようにします。)
6. 環境について取り組む仲間を増やす。(地域や環境に関心をもち、環境について一緒に取り組む仲間を増やします。)
7. その他 ()

第1次環境基本計画の6つの基本方針の重要度を聞いたところ、「ごみを減らす」が最も多く(572件)、次いで「農地や里山を大切にする」(345件)、「緑を増やす」(327件)となっており、「環境の情報を集め、市の人に知らせていく」が最も少なく187件であった。

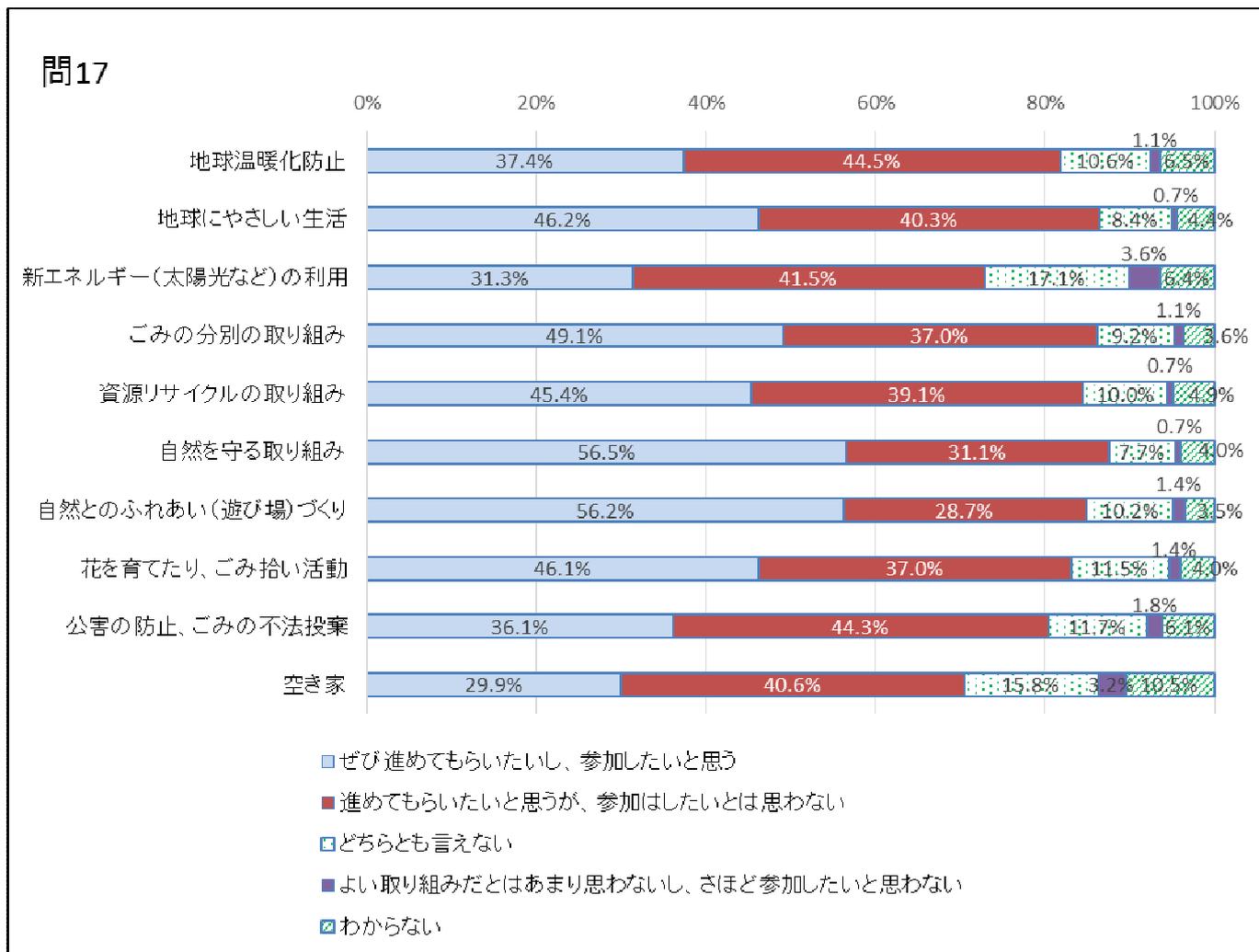


問17. まちづくりの方針となる大網白里市総合計画に環境に関する取り組みがあります。あなたは、下にある10の取り組みについて、どのように思いますか？それぞれの取り組みについて、あてはまるものの番号に1から5だけ○印をつけてください。

	1.ぜひ進めてもらいたいし、参加したいと思う。	2.進めてもらいたいと思うが、参加したいとは思わない。	3.どちらとも言えない。	4.よい取り組みだとは思わないし、さほど参加したいと思わない。	5.わからない。
1.地球温暖化防止 <small>おんだんかぼうし</small> の取り組み	1	2	3	4	5
2.地球にやさしい生活の取り組み	1	2	3	4	5
3.新エネルギー（太陽光など）の利用の取り組み	1	2	3	4	5
4.ごみの分別の取り組み	1	2	3	4	5
5.資源リサイクルの取り組み	1	2	3	4	5
6.自然を守る取り組み	1	2	3	4	5
7.自然とのふれあい（遊び場）づくりの取り組み	1	2	3	4	5
8.花を育てたり、ごみ拾い活動などの取り組み	1	2	3	4	5
9.公害の防止、ごみの不法投棄 <small>とうき</small> の取り組み	1	2	3	4	5
10.空き家（誰も住んでいない家）への取り組み	1	2	3	4	5

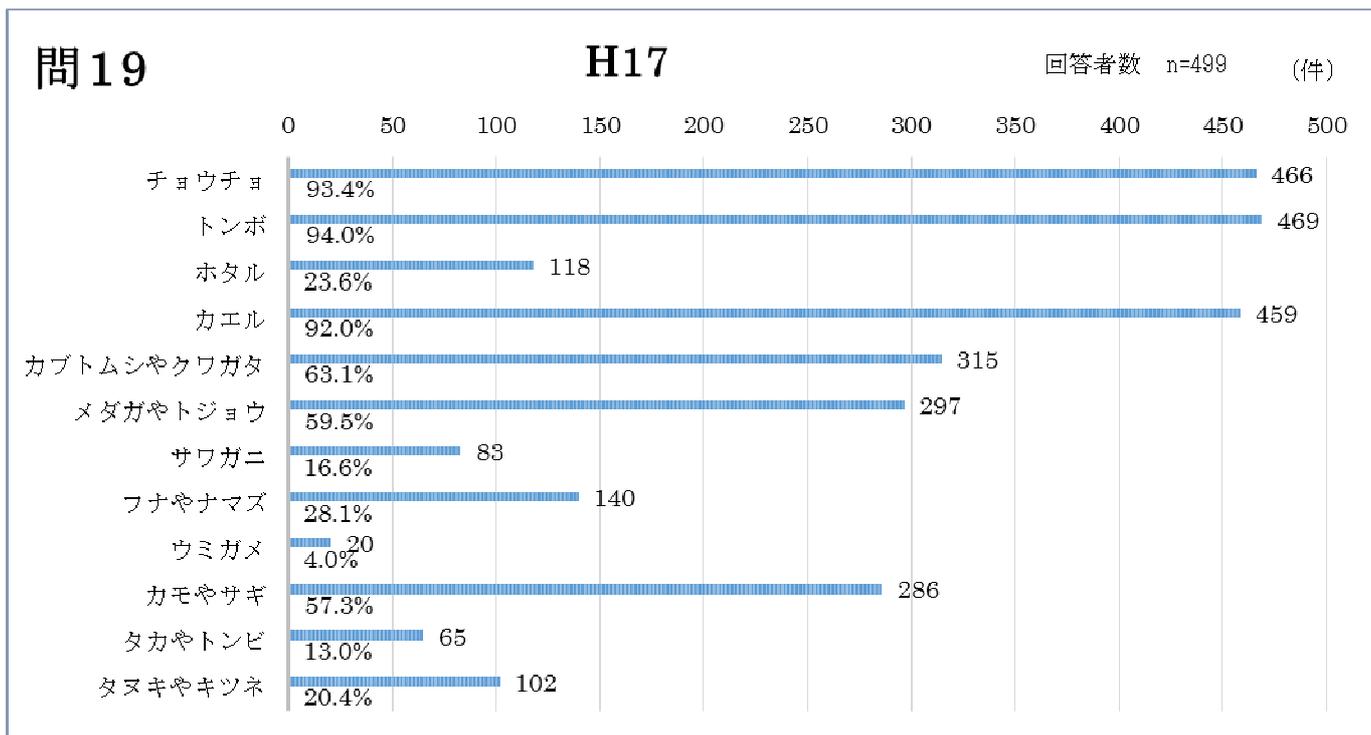
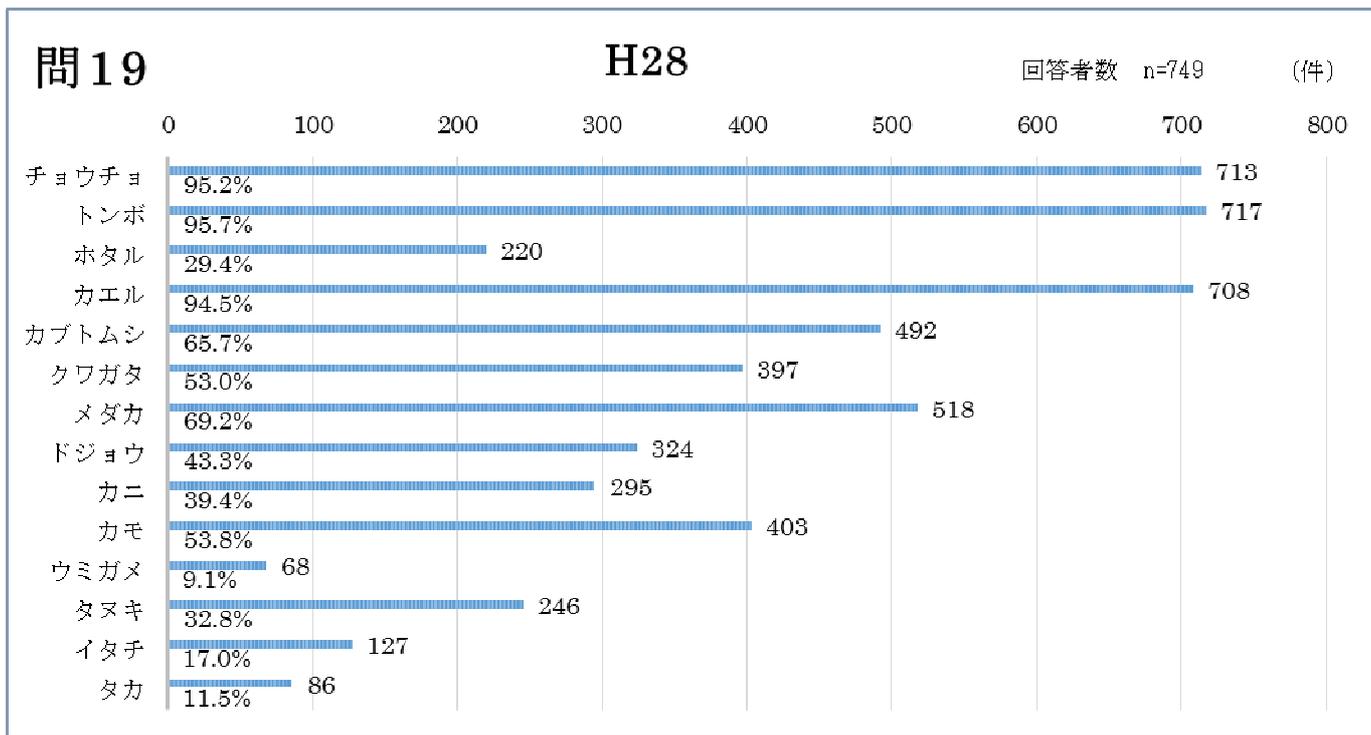
第5次総合計画の施策については、以下のような回答が得られた。

「自然を守る取り組み」と「自然とのふれあい（遊び場）づくり」が取り組みに参加したいと高くなっている。「新エネルギー（太陽光）」や「空き家」は低くなっている。



問19. この1年間で、あなたが市内で見たことのある生き物はどれですか？見たことのあるものには、あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. チョウチョ | 2. トンボ |
| 3. ホタル | 4. カエル |
| 5. カブトムシ | 6. クワガタ |
| 7. メダカ | 8. ドジョウ |
| 9. カニ | 10. カモ |
| 11. ウミガメ | 12. タヌキ |
| 13. イタチ | 14. タカ |



問20. ^{かんきょう}環境を維持していくためにはどうしたら良いでしょうか。アイデアを記入してください。

(主なもの) ※趣旨に変更を加えない範囲で加筆・修正しています。

- ・太陽光発電のパネルを増やす。
- ・木をこれ以上減らさない。
- ・汚いところは見た目きれいにする。
- ・緑を増やす運動は家でもできる。
- ・里山の活性化。
- ・ホテルを増やす。
- ・緑を豊かにしながらも散歩コースもつくって行って昭和の森みたいなをつくる。
- ・地域の人たちがもっと環境に興味をもってくれるようにイベントをやると思います。
- ・ポイ捨ての多い場所にゴミ箱を設置する。
- ・取り組みを行っているひとを増やす。木などを植える運動をする。
- ・リサイクルで集められるところを増やす。
- ・ポイ捨てしないようなポスター作製。
- ・一人一人が環境に対して意識する。
- ・みんなが今の状況にありがたみと感謝をもって緑を守る。もっと危機感をもって生活する。
- ・一人一人が地域の取り組みに参加する。
- ・市に住んでいる人全員で清掃活動する。
- ・今の時代は自動車などの排気ガスをなくせないから小さなことから進めていく。
- ・一人一人が今以上に自然のことを考えるべきだと思う。リサイクルは誰でもできるものだから徹底的に行った方がいい。
- ・リサイクルした商品を買う。
- ・ボランティア活動を行い、義務教育の場でも授業や実習をする。看板やチラシなど人の目につくもので協力を呼びかける。花上フェスタを市で開催する。
- ・他の地域から来てもらえるように花木をきれいにし、見栄えをきれいにする。
- ・洗剤をなるべく使わないようにする。
- ・掃除のフェスティバルをやる。
- ・車の排気ガスを減らすために歩道を増やす。地球温暖化防止で電気の使用量を減らすために毎月、市での総使用量みたいなのを回覧版などで知る。
- ・環境を維持するためには、生活している人たち一人一人が「きれいにしよう」とかの気持ちをもって生活するべきだと思う。
- ・花のたねなどを配布する。道に花を植えて名前などを知ってもらう。